



毎日、発明する会社

2025年4月期

第2四半期（中間期）決算説明資料

フリービット株式会社

2024年12月13日

1. 2025年4月期 第2四半期 連結業績	・ ・ ・ ・ ・	3
2. 2025年4月期 第2四半期 セグメント別業績	・ ・ ・ ・ ・	13
3. 2025年4月期 第2四半期 連結業績進捗	・ ・ ・ ・ ・	26
4. Appendix	・ ・ ・ ・ ・	32

1. 2025年4月期 第2四半期 連結業績

- ギガプライズグループ（GPG）は、前連結会計年度において決算日を3月31日から当社の連結決算日と同じ4月30日に変更いたしました。そのため、前連結会計年度における当該連結子会社は、2023年4月1日から2024年4月30日までの13ヶ月を連結対象期間とした変則的な決算になっております。
- 本説明資料における前年同期の値については「決算期変更影響含む値」と「決算期変更影響除外値」で説明いたします。

連結対象期間

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期									
(前期) 24/04期	GPG	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	当社		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
(当期) 25/04期	GPG		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	当社		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4

2025年4月期 第2四半期 連結業績サマリ

(単位：百万円)	24年4月期 第2四半期 (決算期変更影響含む値)	[参考] 24年4月期 第2四半期 (決算期変更影響除外値) ※1	25年4月期 第2四半期		
			実績	[参考] 増減額 ※2	[参考] 増減率 ※2
売上高	27,073	25,341	26,622	- (+1,281)	- (+5.1%)
営業利益	3,071	2,673	3,024	- (+351)	- (+13.1%)
経常利益	3,014	2,618	3,076	- (+457)	- (+17.5%)
親会社株主に 帰属する 中間純利益	1,980	1,823 (特別利益259百万円含む)	1,768	- (△55)	- (△3.0%)
1株当たり 中間純利益	99円22銭	91円34銭	88円18銭	- (△3円16銭)	-

※1 決算期変更影響除外値は、GPGの決算期変更の影響を除外した未監査の参考数値です。

※2 P.4に記載の通り、GPGの決算期変更の影響があったことから、対前年同期の増減額及び増減率は記載しておりません。
なお、括弧内は24年4月期第2四半期の決算期変更影響除外値と比較した数値です。



売上高



営業利益～親会社株主に
帰属する中間純利益



結果



5Gインフラ
支援事業

フリービットのB2B2X (B/C)
モバイルサービスにおける
提供数拡大



5G生活様式
支援事業

ギガプライズの事業である
5G Homestyleの集合住宅向け
ISPサービスにおける
提供戸数の順調な増加



企業・クリエイター
5G DX支援事業

フルスピードグループの
アフィリエイトサービスにおける
国内及びグローバルでの進展

売上高の増加

+

5G生活様式支援事業、
企業・クリエイター
5G DX支援事業の利益増

営業利益 伸長

営業利益の伸長により

経常利益 伸長

前期特別利益発生
により

親会社株主に
帰属する中間純利益
減少

前年同期比
(決算期変更影響除外値) ※1

売上高 **+5.1%** ↑

営業利益 **+13.1%** ↑

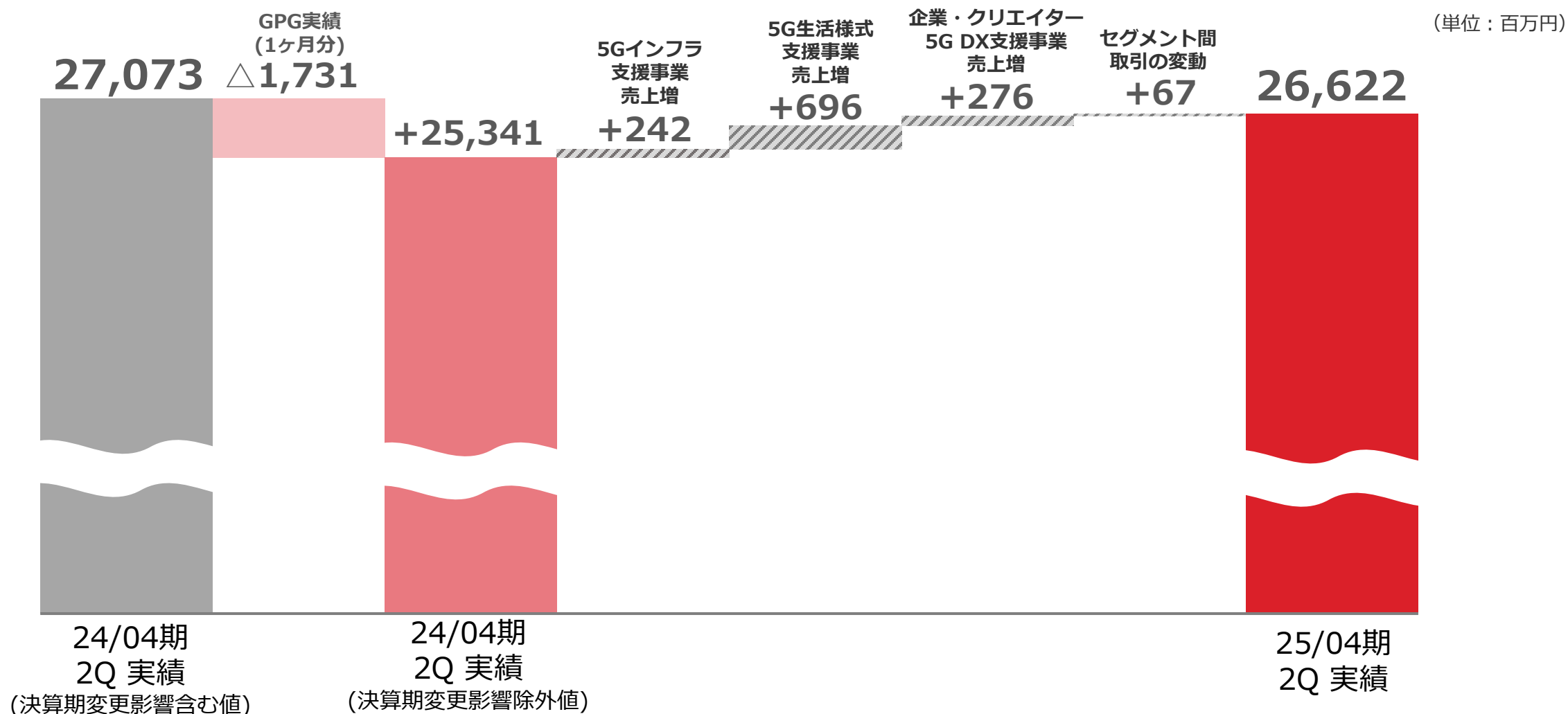
経常利益 **+17.5%** ↑

親会社株主に
帰属する
中間純利益 **△3.0%** ↓

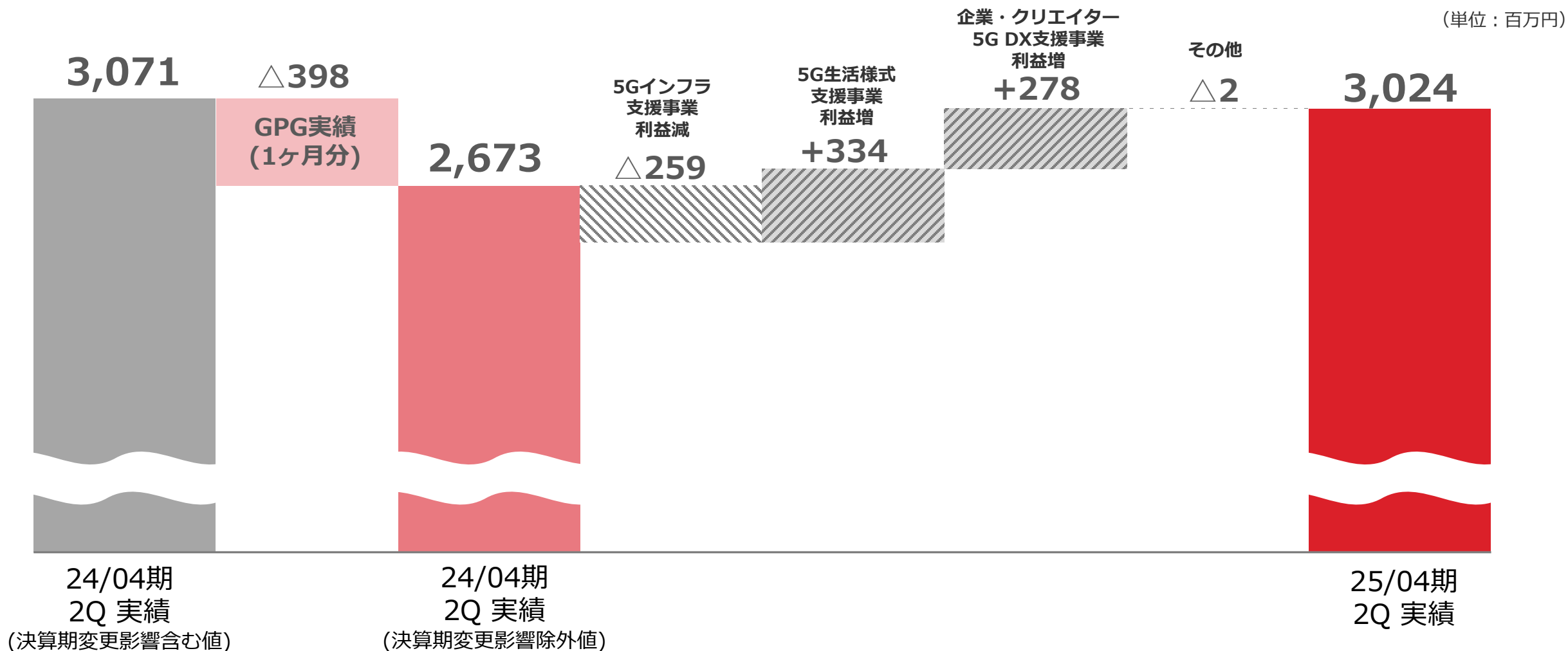
前期259百万円の特別利益発生
(投資有価証券及び関係会社株式の売却益) により、
前年同期比では親会社株主に帰属する
中間純利益は減少するも

**業績進捗は期初予想に対し
堅調に推移**

5G生活様式支援事業を中心に全てのセグメントが堅調に推移 (決算期変更影響除外値での前年同期比：5.1%増)



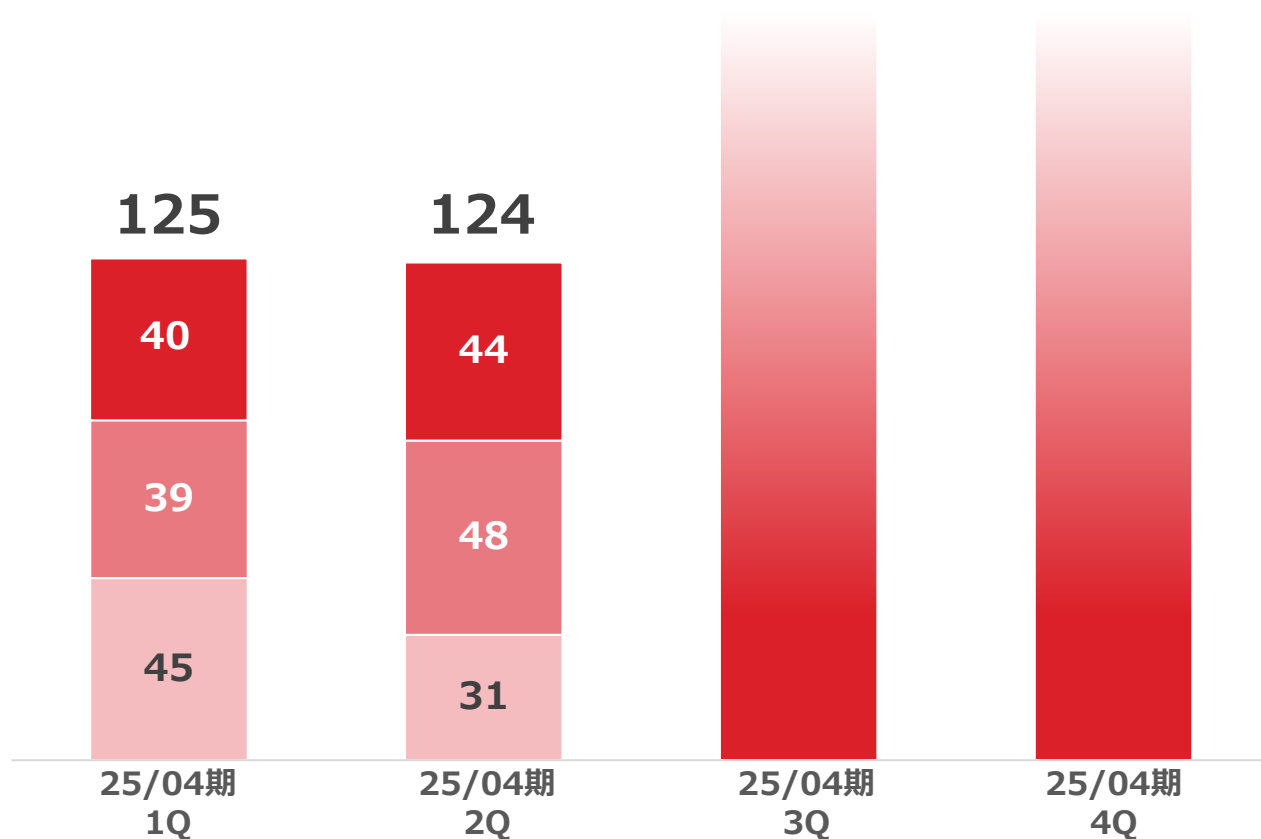
5Gインフラ支援事業は減少するも、5G生活様式支援事業、企業・クリエイター5G DX支援事業は堅調に推移（決算期変更影響除外値での前年同期比：13.1%増）



データセンター移設や「StandAlone」プラットフォームの多面展開、web3関連プロジェクトをはじめとした投資を実施

- 5Gインフラ支援事業
- 5G生活様式支援事業
- 企業・クリエイター 5G DX支援事業

(単位：百万円)



想定される新たな成長ドライバー例



毎日、発明する会社

ギガプライズとの共同領域、新B2Bプラットフォーム、Platform Maker サービス(web3、5G、IoT、AI)、DX、医療、IoT領域等



独自web3サービスの展開
(コミュニティによるIEO検討含む)、
新型与信サービス等



全戸一括型回線提供+aによる社会問題
解決への挑戦

Full Speed

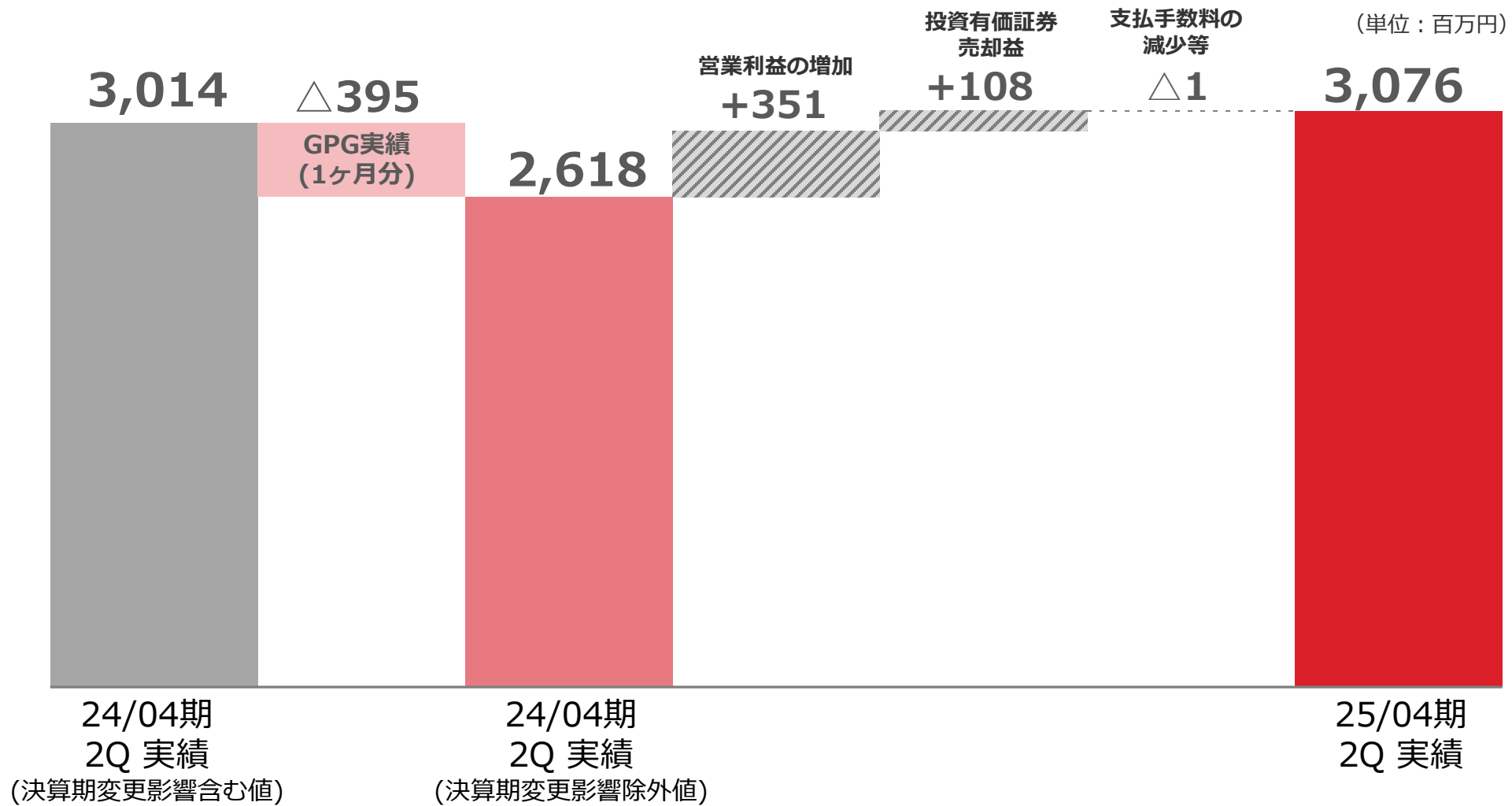


クリエイターDX事業拡大、アジアを中心とする海外展開



web3/AI技術実装、コアコンポーネント
を利用したアセンブリ

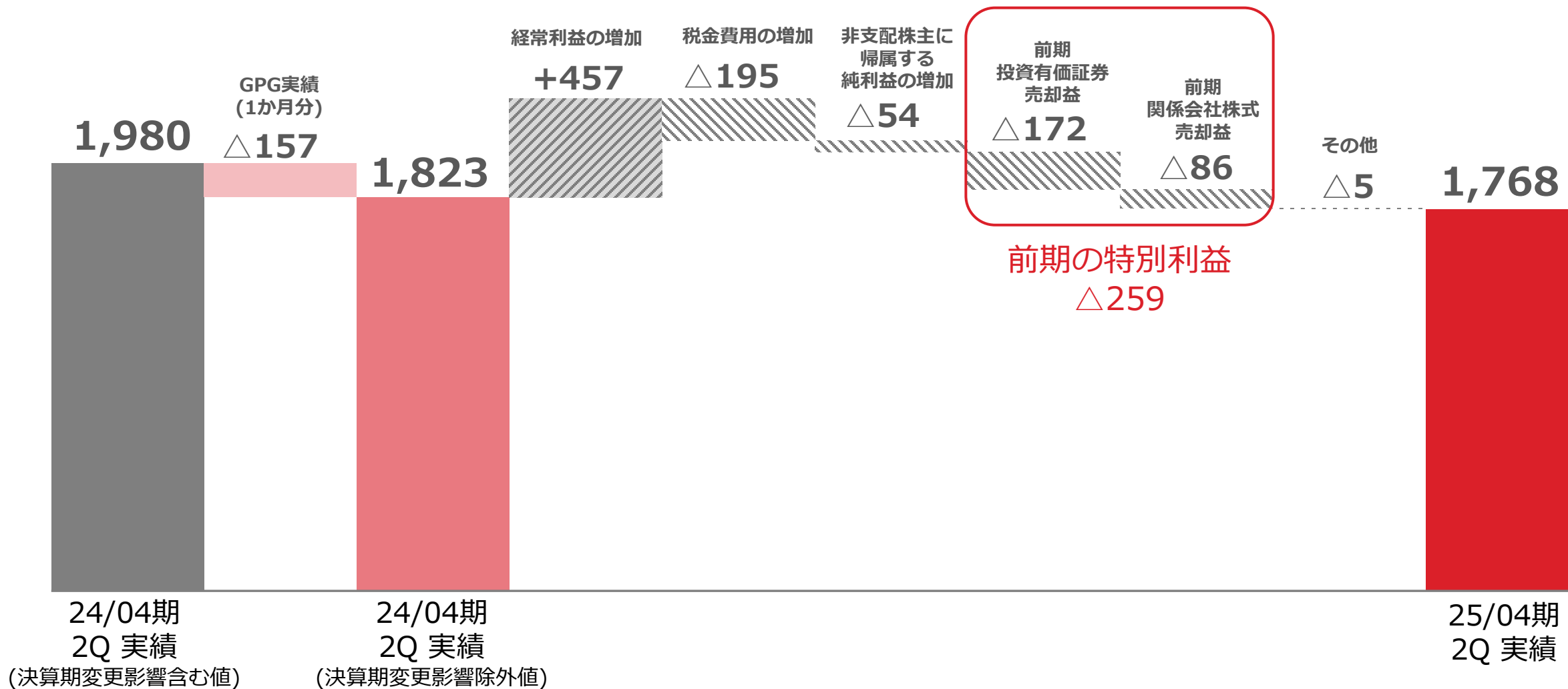
営業利益の堅調な推移により、経常利益も着実に進捗
 (決算期変更影響除外値での前年同期比：17.5%増)



前年同期比差異分析 親会社株主に帰属する中間純利益

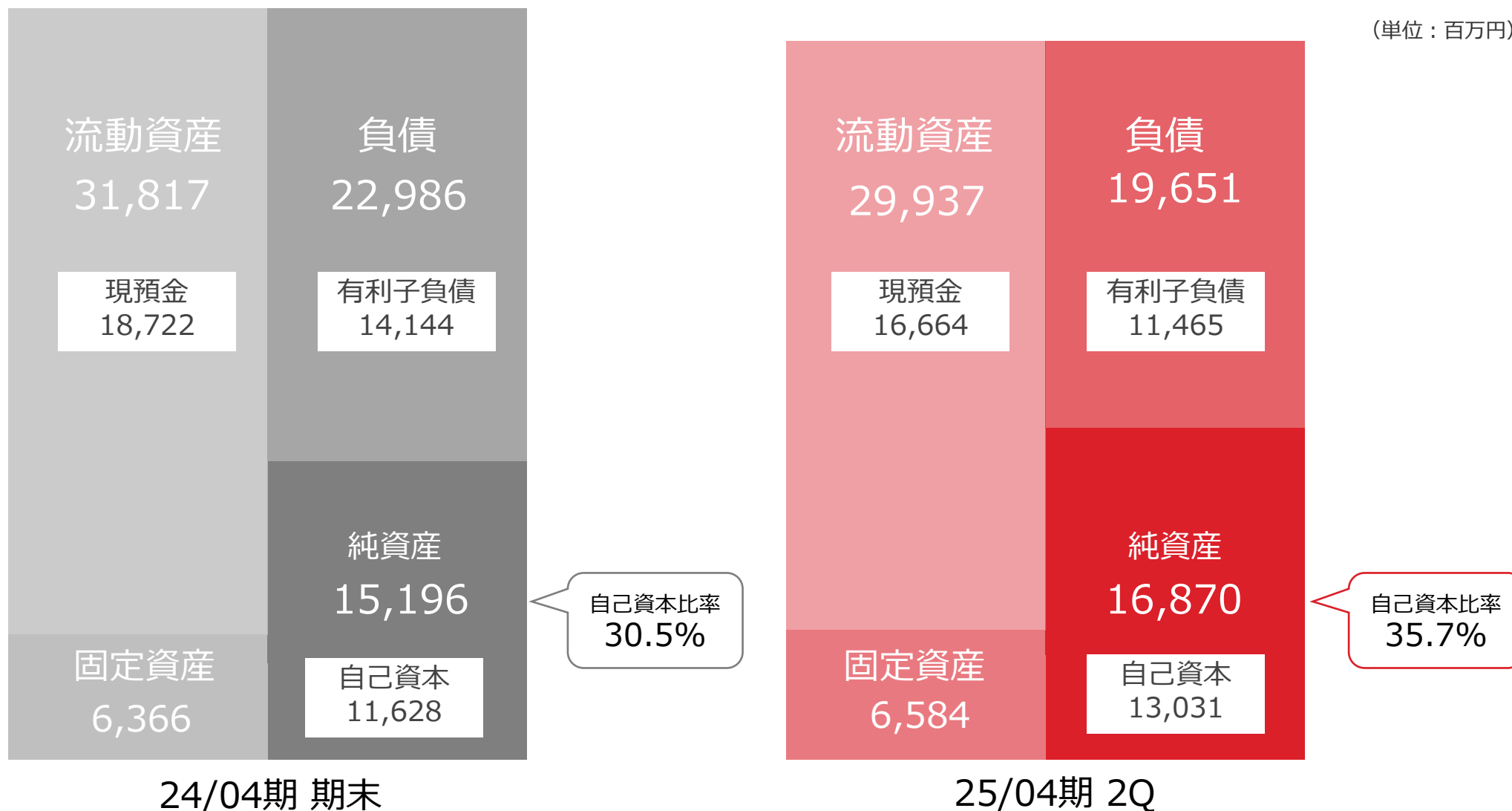
前期特別利益発生により親会社株主に帰属する中間純利益は減少
 (決算期変更影響除外値での前年同期比：3.0%減)

(単位：百万円)



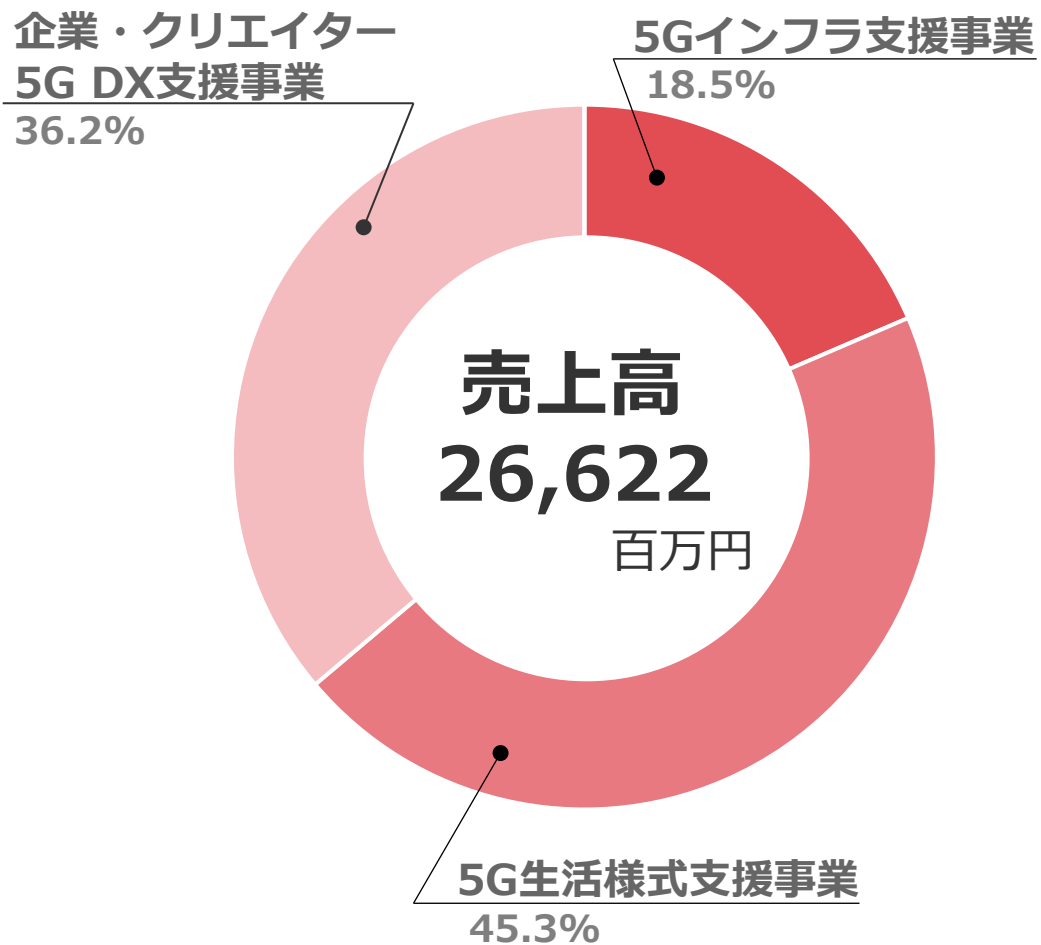
業績の堅調な進捗による利益剰余金の増加及び有利子負債の圧縮等により 自己資本比率が35.7%に増加

(単位：百万円)



2. 2025年4月期 第2四半期 セグメント別業績

全てのセグメントにおいて、売上高は堅調に進捗し増収
セグメント損益は、5Gインフラ支援事業で一部コスト増により減益、その他は増益

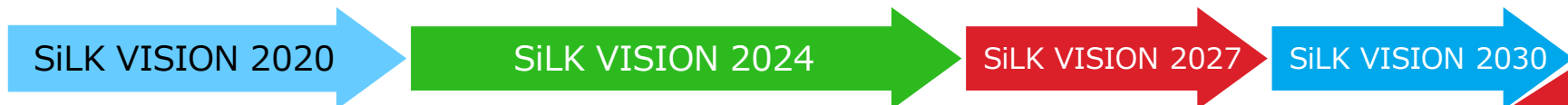


売上高		セグメント損益※1	
5Gインフラ支援事業			
実績 5,166 百万円 YoY +4.9%		実績 689 百万円 YoY △27.4%	
5G生活様式支援事業※2			
実績 12,619 百万円 YoY - (YoY +5.8%)		実績 1,637 百万円 YoY - (YoY +25.7%)	
企業・クリエイター5G DX支援事業			
実績 10,075 百万円 YoY +2.8%		実績 709 百万円 YoY +64.5%	

※1 セグメント区分の変更について
第1四半期連結会計期間より、これまで「5Gインフラ支援事業」、「5G生活様式支援事業」及び「企業・クリエイター5G DX支援事業」に区分していた一部の基礎研究費用について、社会実装段階となったことから「5G生活様式支援事業」に区分変更しております。なお、本説明資料における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で作成しております。

※2 P.4に記載の通り、GPGの決算期変更の影響があったことから、対前年同期の増減率は記載しておりません。なお、括弧内は24年4月期第2四半期の決算期変更影響除外値と比較した数値です。

【業績進捗】 5Gインフラ支援事業



インキュベーションゾーン
トランスフォーメーションゾーン

Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)
5G Workstyle
5G Healthstyle
5G Carlifestyle

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

パフォーマンスゾーン

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト

想定される新たな成長ドライバー例

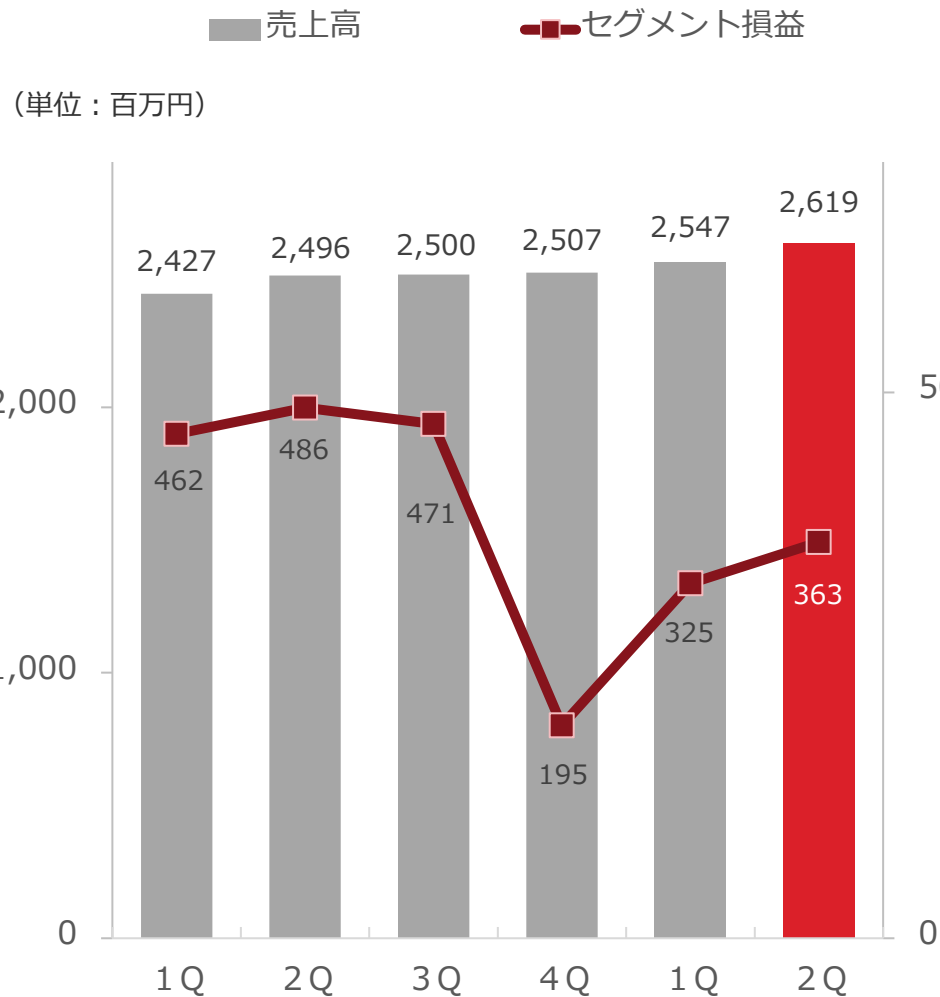
- freebit 毎日、発明する会社: ギガプライズとの共同領域、新B2Bプラットフォーム、Platform Maker サービス(web3、5G、IoT、AI)、DX、医療、IoT領域等
- TONE DTI: 独自web3サービスの展開 (コミュニティによるIEO検討含む)、新型与信サービス等
- GIGA PRIZE: 全戸一括型回線提供+dによる社会問題解決への挑戦
- Full Speed: クリエイターDX事業拡大、アジアを中心とする海外展開
- CRAID: web3/AI技術実装、コアコンポーネントを利用したアセンブリ

既存事業の成長

- freebit 毎日、発明する会社: MVNE (5G) 事業の市場拡大に沿った成長計画
- GIGA PRIZE: 5G Homestyle (GPG) の3年間平均15万戸導入の維持
- Full Speed: インターネットマーケティング事業の生産性向上と利益改善

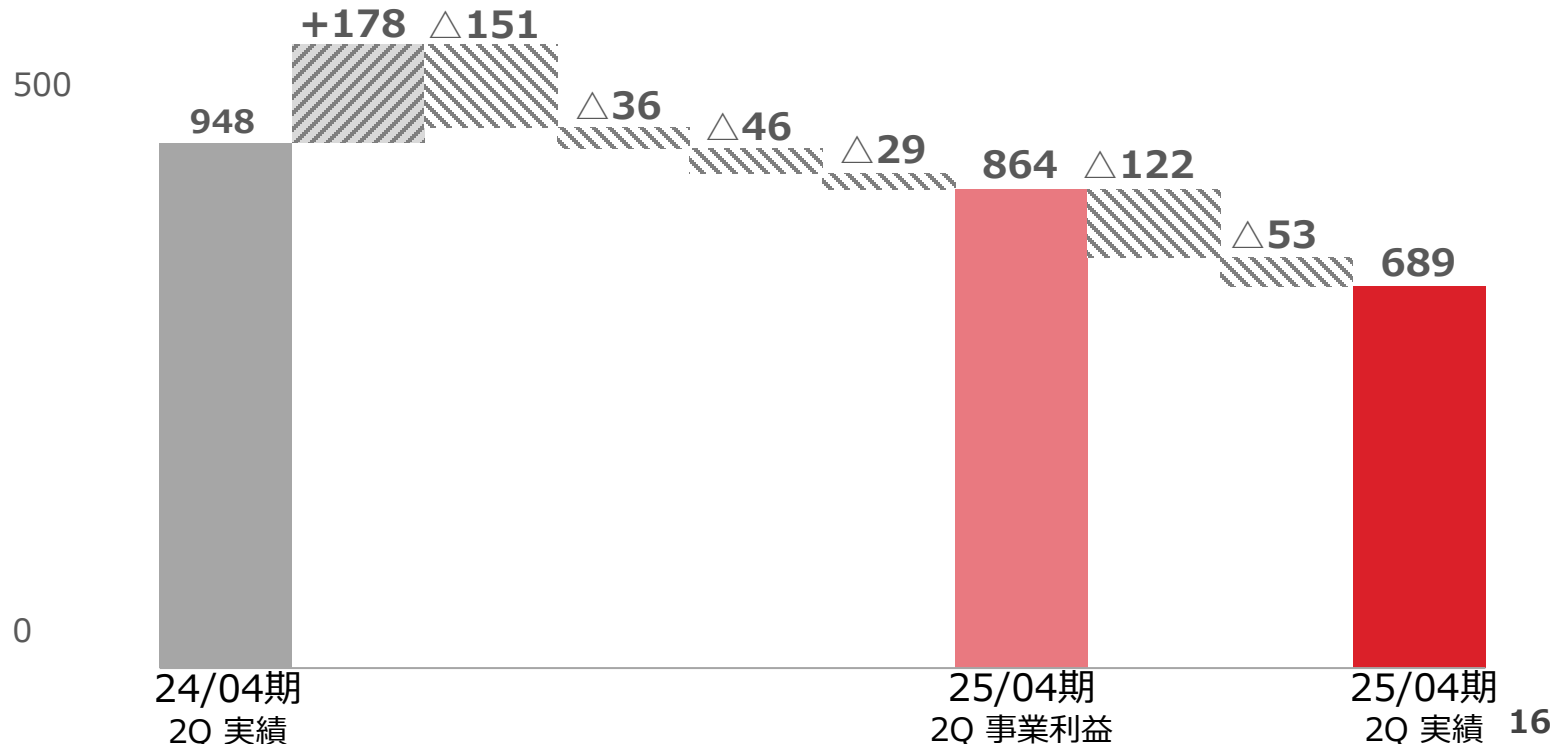
B2B2X(B/C)モバイルのサービス利用増はあったものの、通信品質向上の費用や一時費用の発生、共通費等の増により、前年同期比27.4%の利益減

売上高・セグメント損益



セグメント損益前年同期比差異分析

- +178 B2B2X(B/C)モバイル：サービス利用増による利益増 (単位：百万円)
- △151 B2B2X(B/C)モバイル：通信品質の向上に係る費用
- △36 クラウドサービス事業：為替変動の影響等による仕入原価増など
- △46 B2B2X(B/C)モバイル：ネットワーク設備更改による一時費用
- △29 B2B2X(B/C)固定網：サービス利用減による利益減 他
- △122 人材強化等による共通費増
- △53 全社費用等



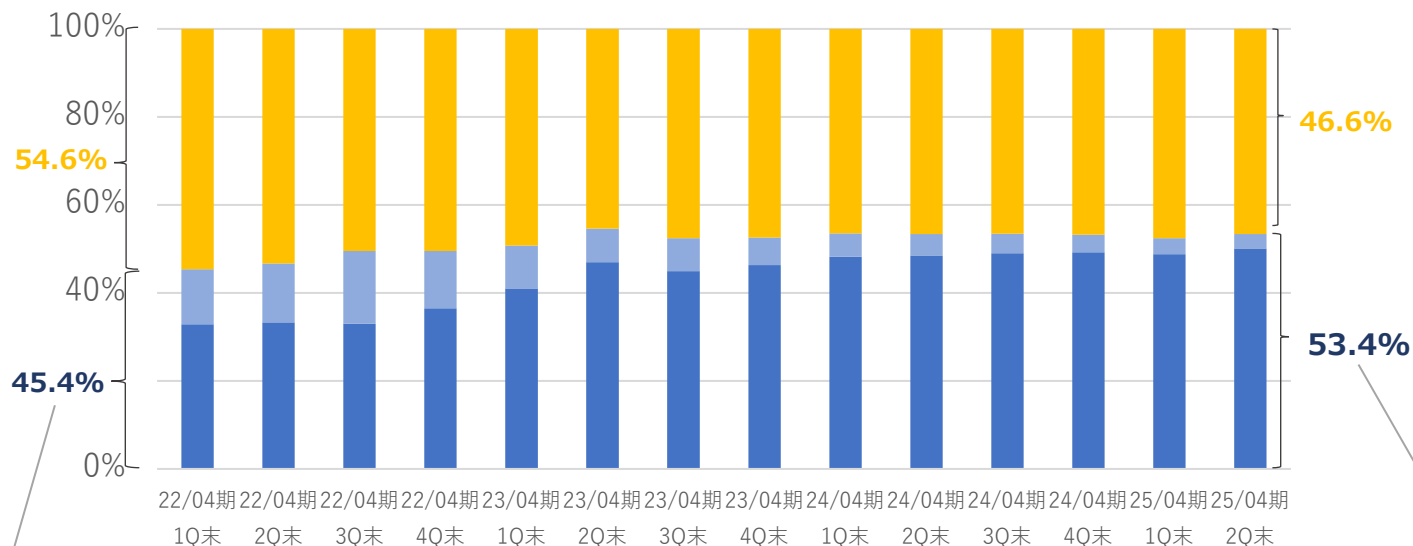


回線、ネットワークインフラ、各種管理ツール、ユーザサポート、物流システム、SIM発行センターなどをパッケージ化し、MVNO事業者が自社ブランドのモバイル通信サービスを独自プランでエンドユーザーへの提供するための、MVNO支援サービス

■ 販売SIMの構成比推移

付加価値の高い「データ+SMS+音声」の販売数増加の傾向が継続し、売上に貢献

■ データ+SMS+音声 ■ データ+SMS ■ データ



うち データ/SMS/音声 32.9%

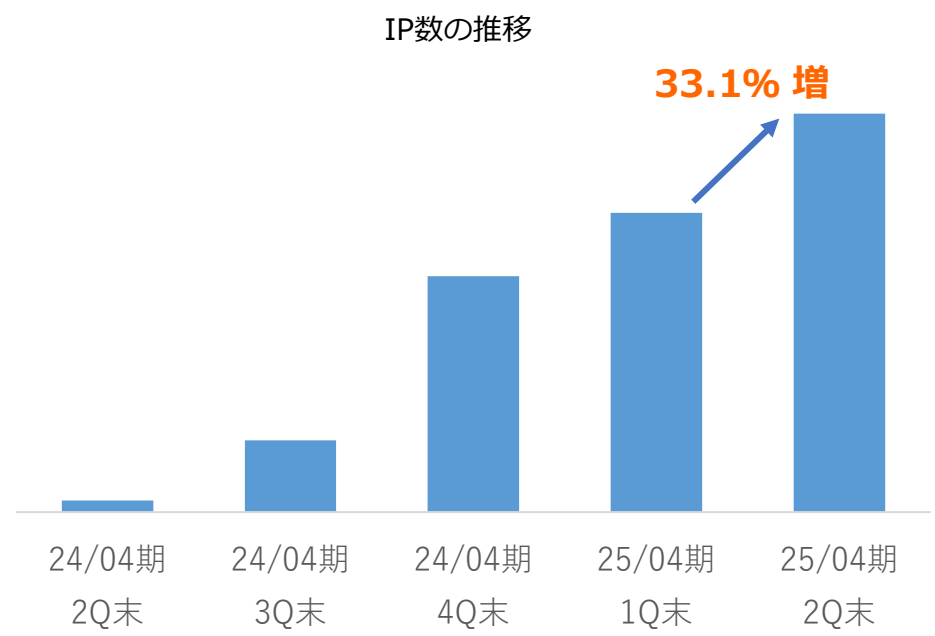
うち データ/SMS/音声 50.1%



固定IPアドレスを使って、外出先から簡単・高セキュリティに社内サーバーにアクセスできる「契約プロバイダ/通信環境」に依存しない、どこにでも持ち出し可能な固定IPアドレスサービス

■ 提供IP数の推移

2023年9月のサービスインから700社超の契約を獲得し、順調に提供数が増加



【業績進捗】 5G生活様式支援事業

SILK VISION 2020

SILK VISION 2024

SILK VISION 2027

SILK VISION 2030

インキュベーションゾーン
トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト

- Creator Maker (StandAlone)
- Bizmodel Maker (4.0)
- 5G Workstyle
- 5G Healthstyle
- 5G Carlifestyle

- 5G Lifestyle (TONE/DTI)
- 5G Homestyle

想定される新たな成長ドライバー例

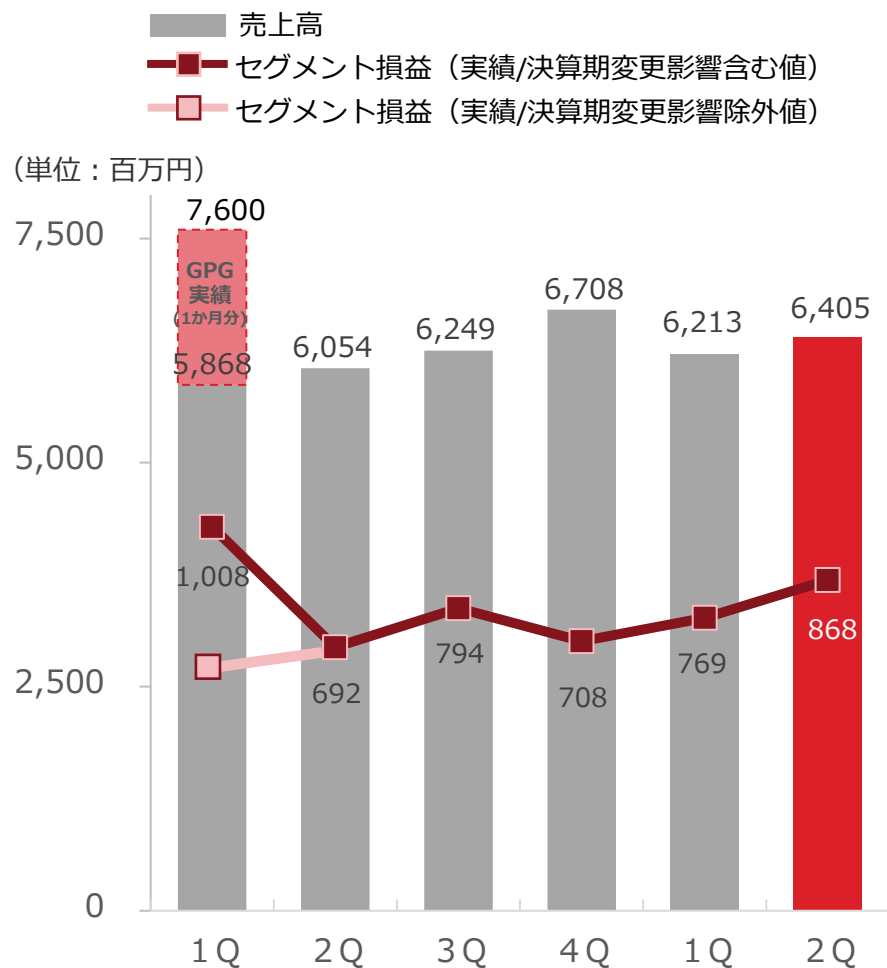
- freebit 毎日、発明する会社
ギガプライズとの共同領域、新B2Bプラットフォーム、Platform Maker サービス(web3、5G、IoT、AI)、DX、医療、IoT領域等
- TONE
 DTI dream.jp
独自web3サービスの展開 (コミュニティによるIEO検討含む)、新型与信サービス等
- GIGA PRIZE
全戸一括型回線提供+dによる社会問題解決への挑戦
- Full Speed
クリエイターDX事業拡大、アジアを中心とする海外展開
- CRAID
web3/AI技術実装、コアコンポーネントを利用したアセンブリ

既存事業の成長

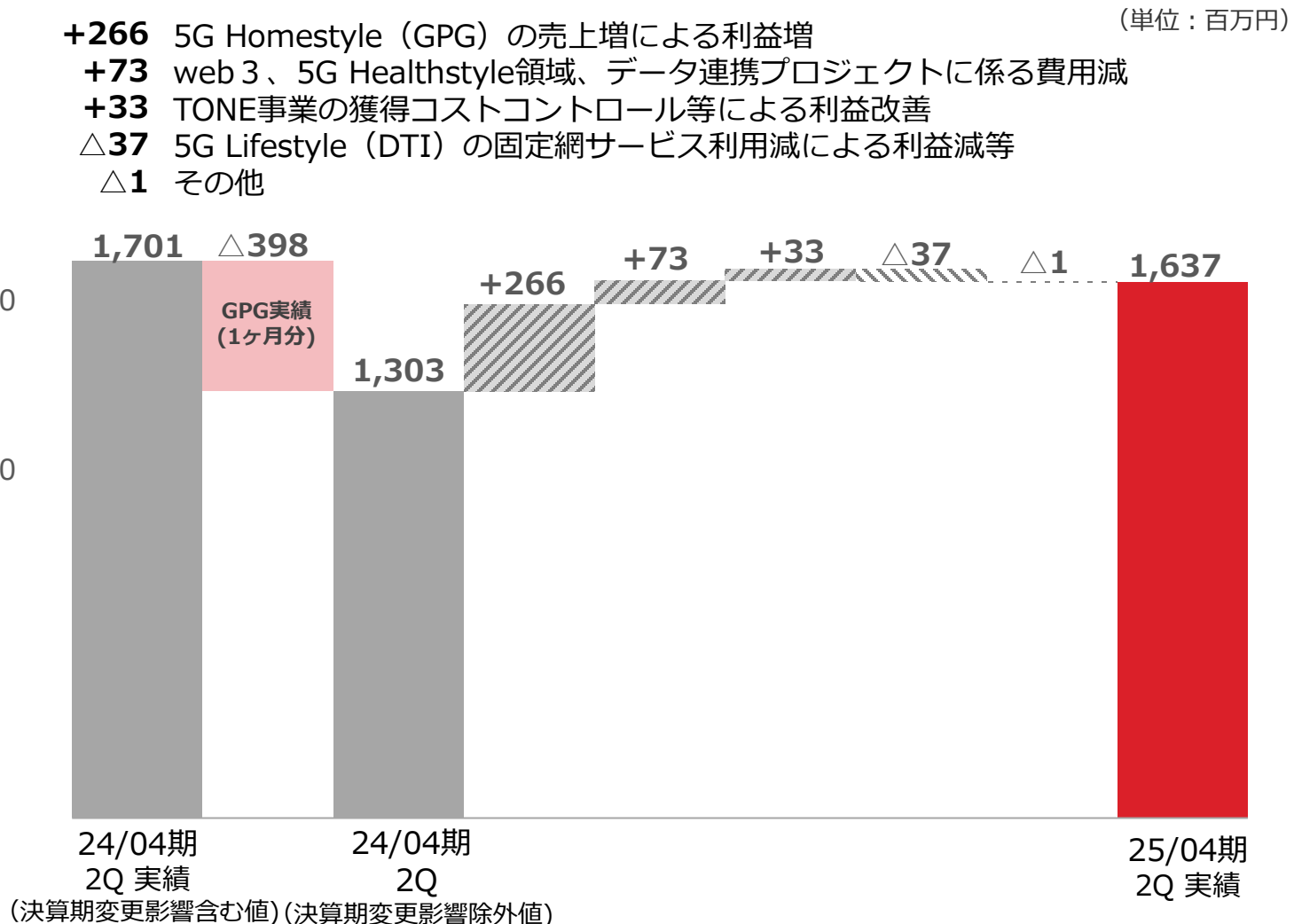
- freebit 毎日、発明する会社
MVNE (5G) 事業の市場拡大に沿った成長計画
- GIGA PRIZE
5G Homestyle (GPG) の3年間平均15万戸導入の維持
- Full Speed
インターネットマーケティング事業の生産性向上と利益改善

5G Homestyleの順調な推移及びコストコントロール等により、 決算期変更影響除外値での前年同期比25.7%の利益増

売上高・セグメント損益

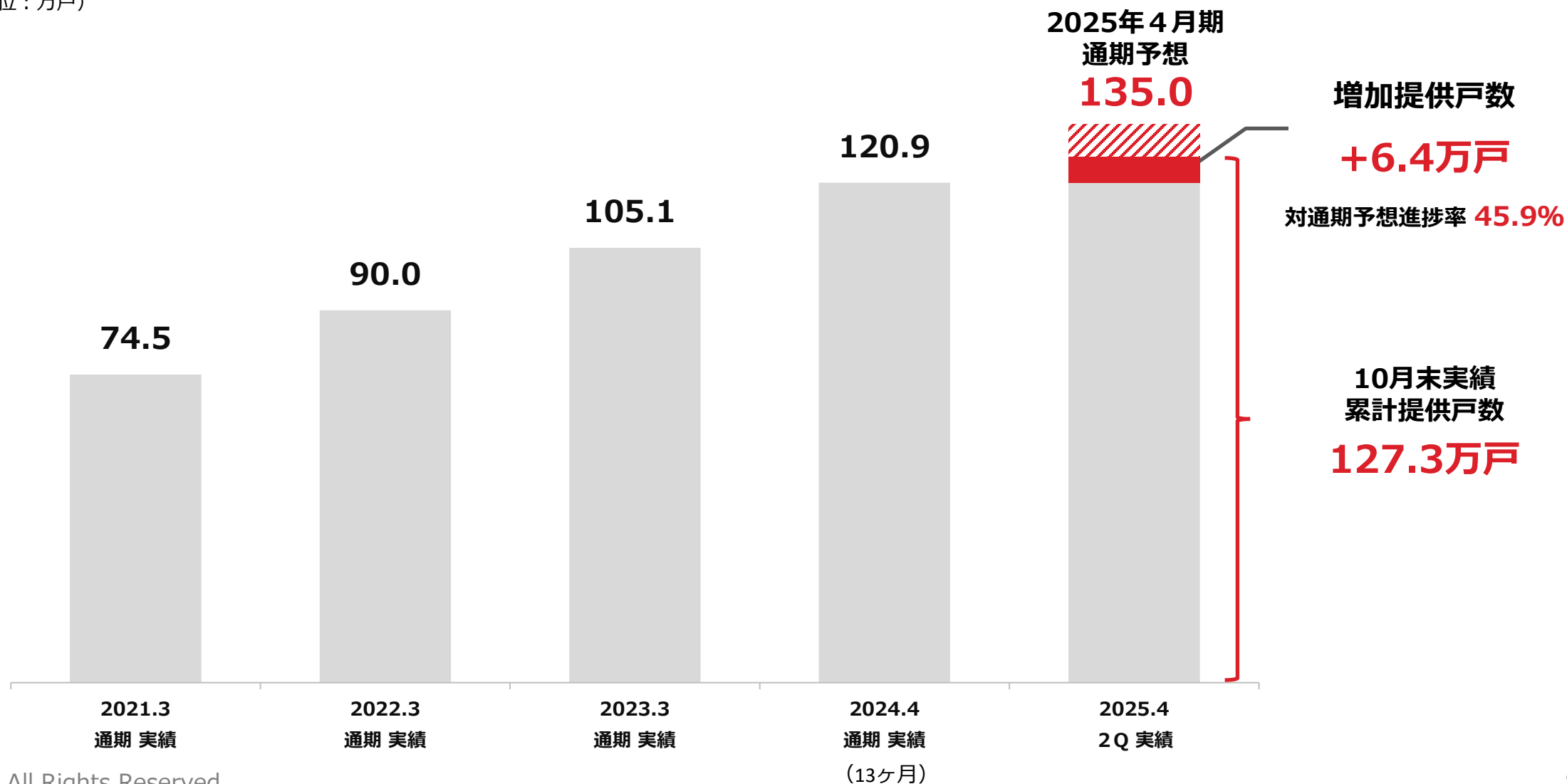


セグメント損益前年同期比差異分析



5G Homestyle (GPG) の重要指標である集合住宅向けISPサービスの提供戸数は前期末 (120.9万戸) 比で、6.4万戸増の累計127.3万戸と順調に推移

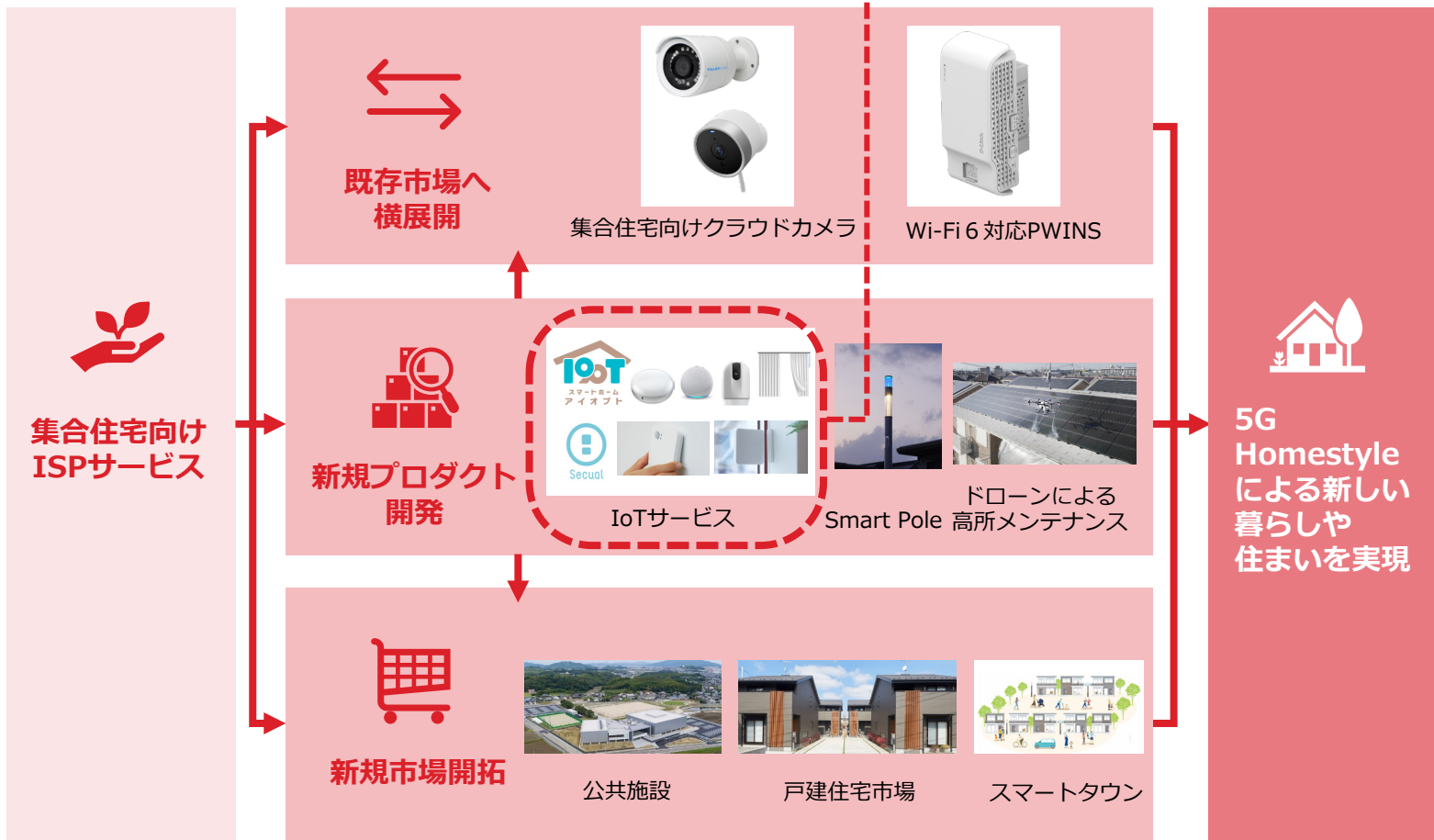
(単位: 万戸)



(2024年11月7日 公表)

「クラウド型防犯カメラサービス」 拡販への取り組みとして、新規市場開拓を推進

 5G Homestyle領域の戦略イメージ



「クラウド型防犯カメラサービス」の拡販に向けて

飲食店や介護施設などの新たな市場への展開に向けた体制強化の一環として、外食産業関連で最大規模の組織である一般社団法人日本フードサービス協会に加入

一般社団法人日本フードサービス協会主催
 「JFフードサービスパートナーズ商談会2024」に
「クラウド型防犯カメラサービス」を出展

「クラウド型防犯カメラサービス」のデモンストレーションを行いながら、防犯対策、従業員管理や在庫管理など、店舗運営における課題解決に有効な取り組み事例について紹介

※詳細につきましては、2024年11月7日公表の「[日本フードサービス協会主催「JFフードサービスパートナーズ商談会2024」に出展](#)」をご参照ください。

【業績進捗】 企業・クリエイター5G DX支援事業



インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト

- Creator Maker (StandAlone)
- Bizmodel Maker (4.0)
- 5G Workstyle
- 5G Healthstyle
- 5G Carlifestyle

- 5G Lifestyle (TONE/DTI)
- 5G Homestyle

想定される新たな成長ドライバー例

- freebit 毎日、発明する会社: ギガプライズとの共同領域、新B2Bプラットフォーム、Platform Maker サービス(web3、5G、IoT、AI)、DX、医療、IoT領域等
- TONE DTI: 独自web3サービスの展開 (コミュニティによるIEO検討含む)、新型与信サービス等
- GIGA PRIZE: 全戸一括型回線提供+dによる社会問題解決への挑戦
- Full Speed: クリエイターDX事業拡大、アジアを中心とする海外展開
- CRAID: web3/AI技術実装、コアコンポーネントを利用したアセンブリ

既存事業の成長

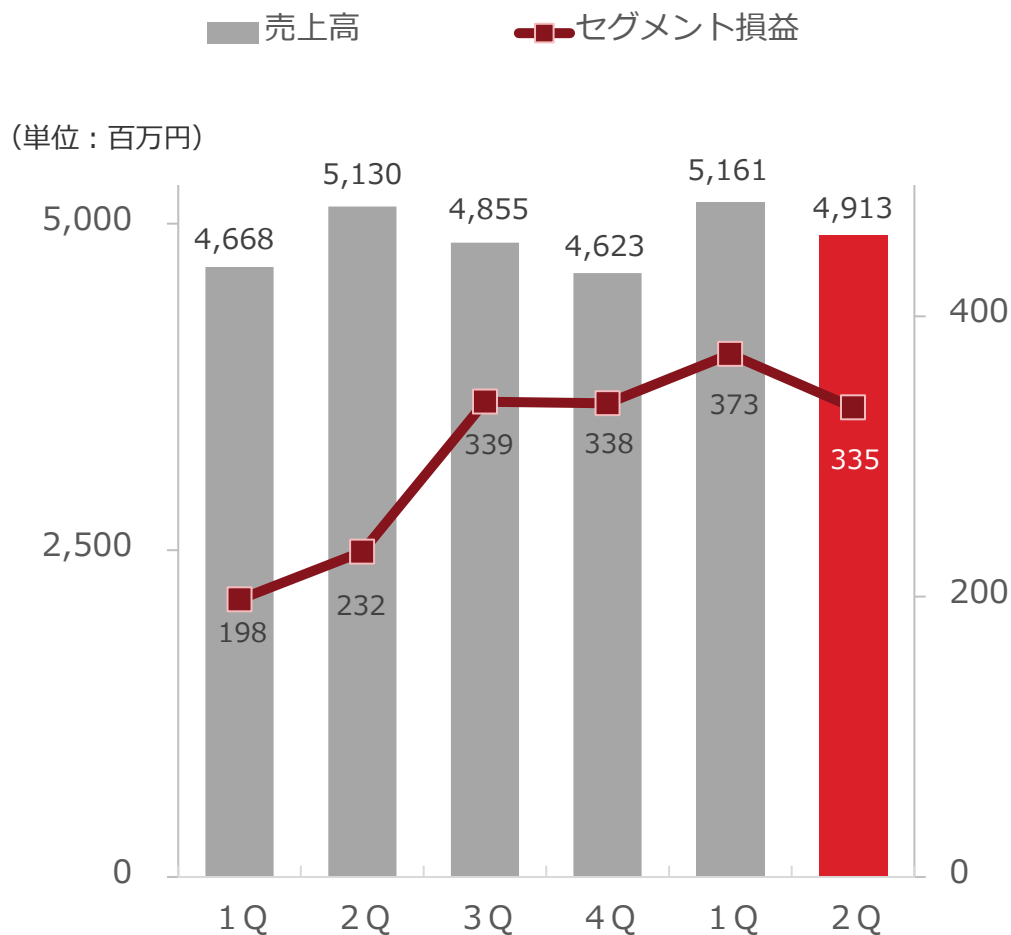
- freebit 毎日、発明する会社: MVNE (5G) 事業の市場拡大に沿った成長計画
- GIGA PRIZE: 5G Homestyle (GPG) の3年間平均15万戸導入の維持
- Full Speed: インターネットマーケティング事業の生産性向上と利益改善

アフィリエイト事業を中心とした売上高の堅調な推移に加え、コスト削減効果等も奏功し、前年同期比64.5%の利益増

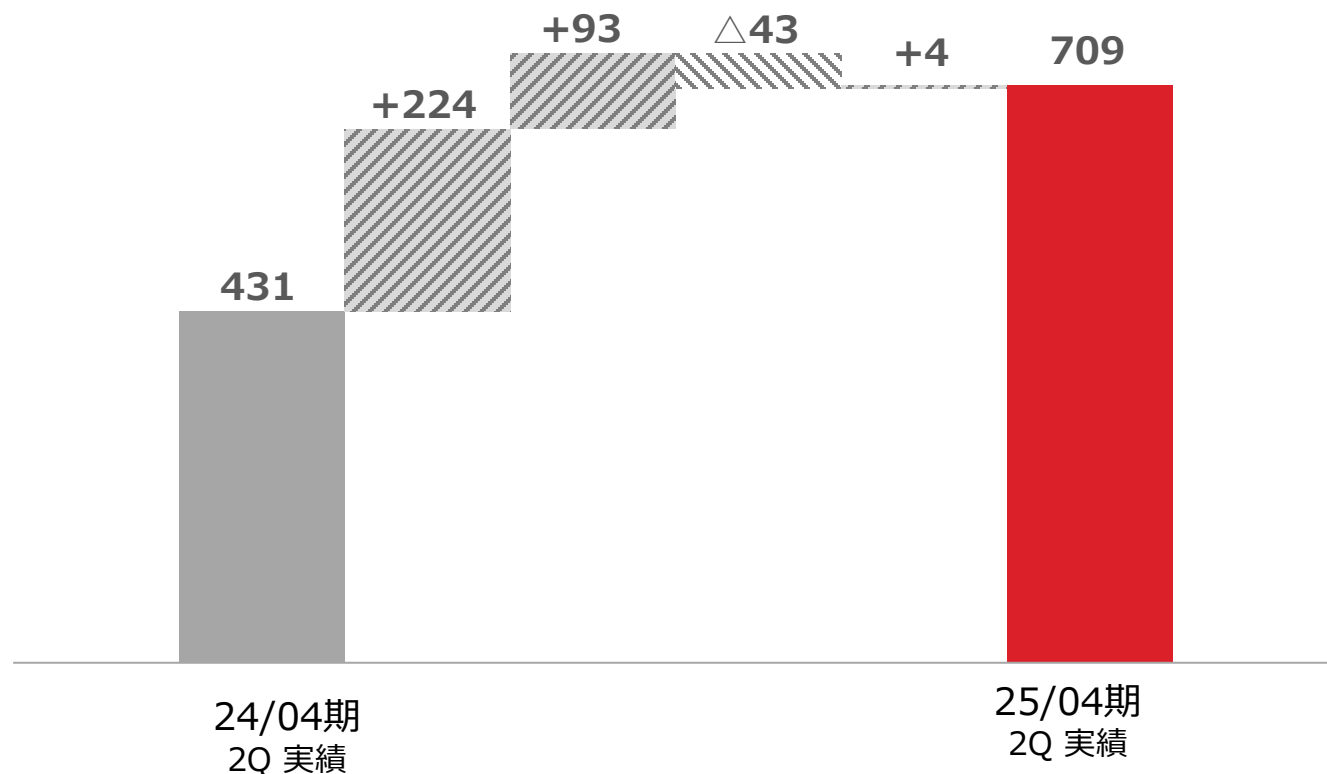
売上高・セグメント損益

セグメント損益前年同期比差異分析

(単位：百万円)

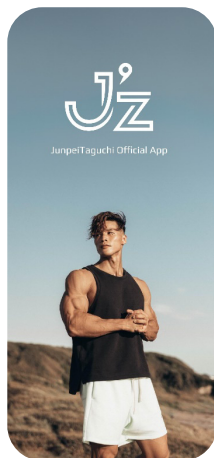


- +224 国内外におけるアフィリエイト事業での売上増による利益増
- +93 アドテックプロダクトにおけるコスト削減施策等による利益増
- △43 「StandAlone」プラットフォームの多面展開による費用増
- +4 その他



StandAloneで新規アーティストのサービス展開が進捗 5G/web3時代におけるファンコミュニティ形成の拡大を目指す

■ 2025年4月期にリリースしたStandAlone一覧



山本舞香
Mk.ZeRo.
(2024年7月11日 リリース)

柊太郎
TOTARO
(2024年7月22日 リリース)

田口純平
J'z
(2024年11月5日 リリース)

渡辺碧斗
BLUE
(2024年8月28日 リリース)



グローバルクリエイター支援 /web3

- web3技術などを含めたITプラットフォームの提供/開発で全面支援するための提携として、**Dean Fujioka (ディーン・フジオカ) 氏**のファンコミュニティ「**FamBam**」において、「世界中のファンと直接つながる」ことを目指しアプリをリリース
- 今後はweb3型の相互貢献的な仕組みやAI技術により多様な個人のつながりをサポートすると同時にweb3技術やBlockchain技術が「信用」を与え自律的に発展していく仕組みを展開していく

(2024年10月2日 公表)

インドネシア・フィリピン最大級のインフルエンサープラットフォーム「PopStar」を提供するYOYO Holdings Pte. Ltd. を子会社化し、ASEAN進出を加速



Map



フォーイト

2017年よりグローバルパフォーマンスマーケティングプラットフォームとして「**Webbridge**」を展開

日本国内でのパフォーマンスマーケティングプラットフォーム「afb」の成功を基盤に、これまでに**中国、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム**へと事業を展開

子会社化により

- ・ グローバルブランドを顧客にもつ**インドネシア・フィリピンの事業基盤**
- ・ ソーシャルメディアプラットフォーム「**TikTok** (2023年/TikTok Creative Marketing Partner認定取得)」との**強固なアライアンス**
- ・ **30万人を超える**インフルエンサーを抱えるプラットフォーム「PopStar」



が当社グループの傘下へ

フォーイトが有する「**Webbridge**」の**グローバル展開をさらに加速**
▶ 世界中の広告主および媒体社へのサービス提供を可能に

成長市場への早期参入、ASEAN地域におけるパフォーマンスマーケティング市場およびインフルエンサーマーケティング市場での**ポジショニングの大幅な強化**を図り、「**Webbridge**」を**グローバルNo.1パフォーマンスマーケティングプラットフォーム**にすることを目指す

YOYO社

インドネシアとフィリピンを中心に**インフルエンサーマーケティングプラットフォーム「PopStar」**を提供
(**インドネシア・フィリピン国内では最大級の規模**)

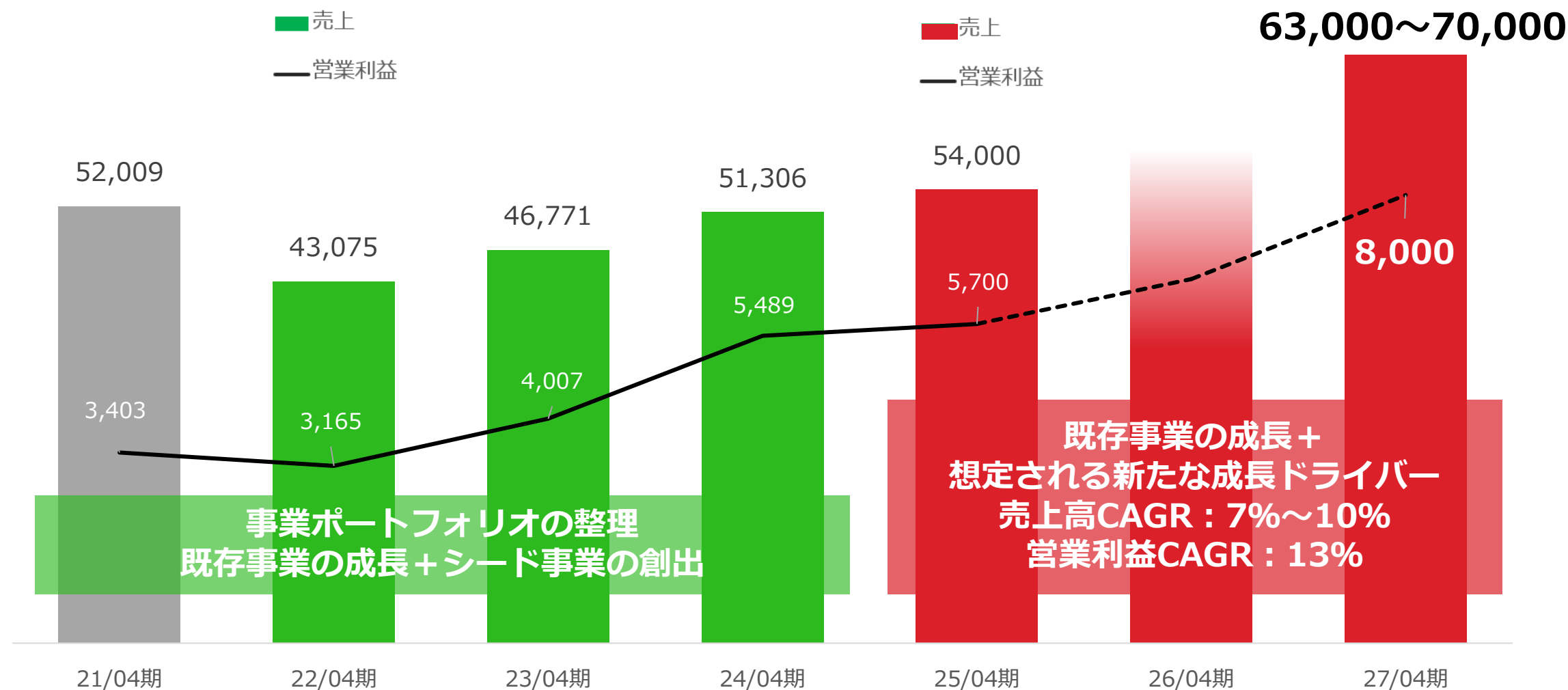
3. 2025年4月期 第2四半期 連結業績進捗

単位：百万円



■ 売上
— 営業利益

■ 売上
— 営業利益

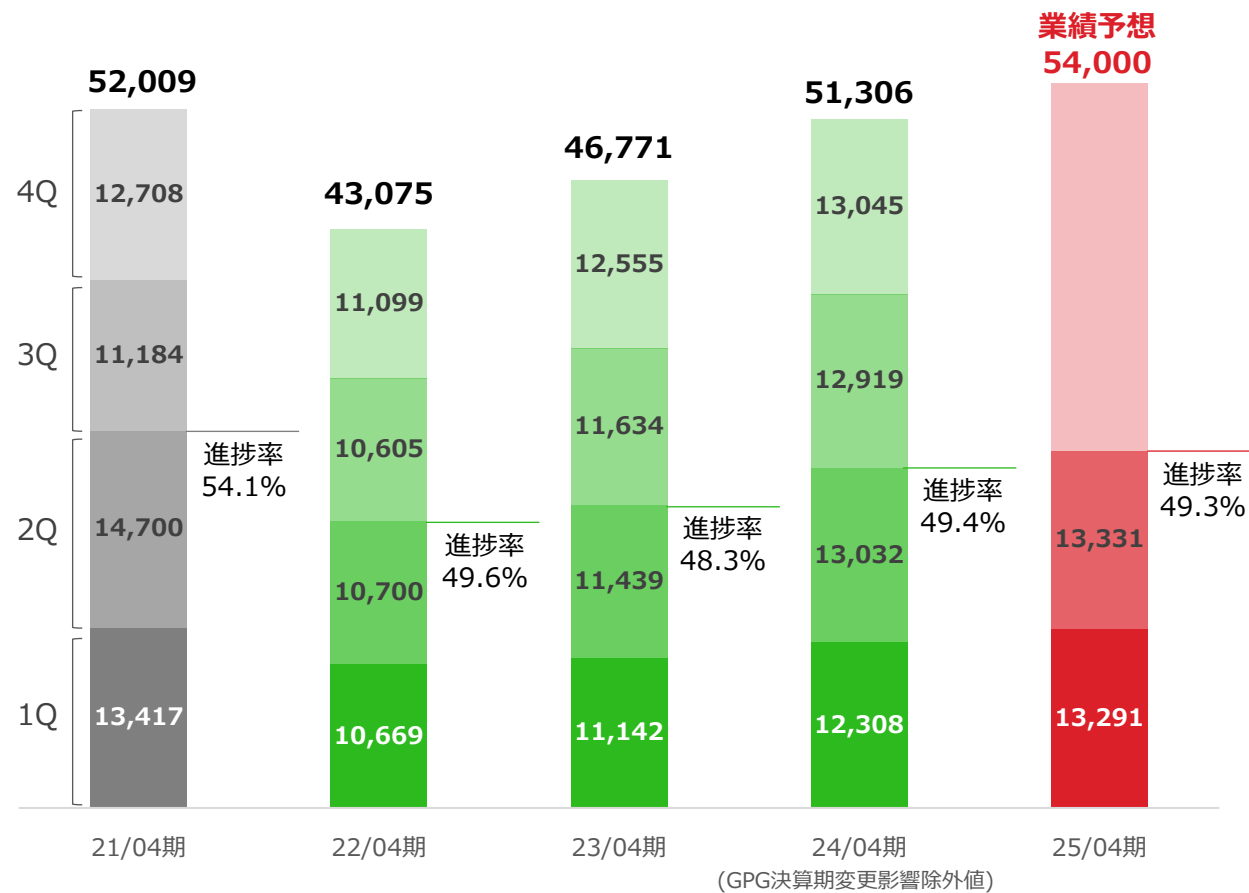


GPG決算期変更影響除外値

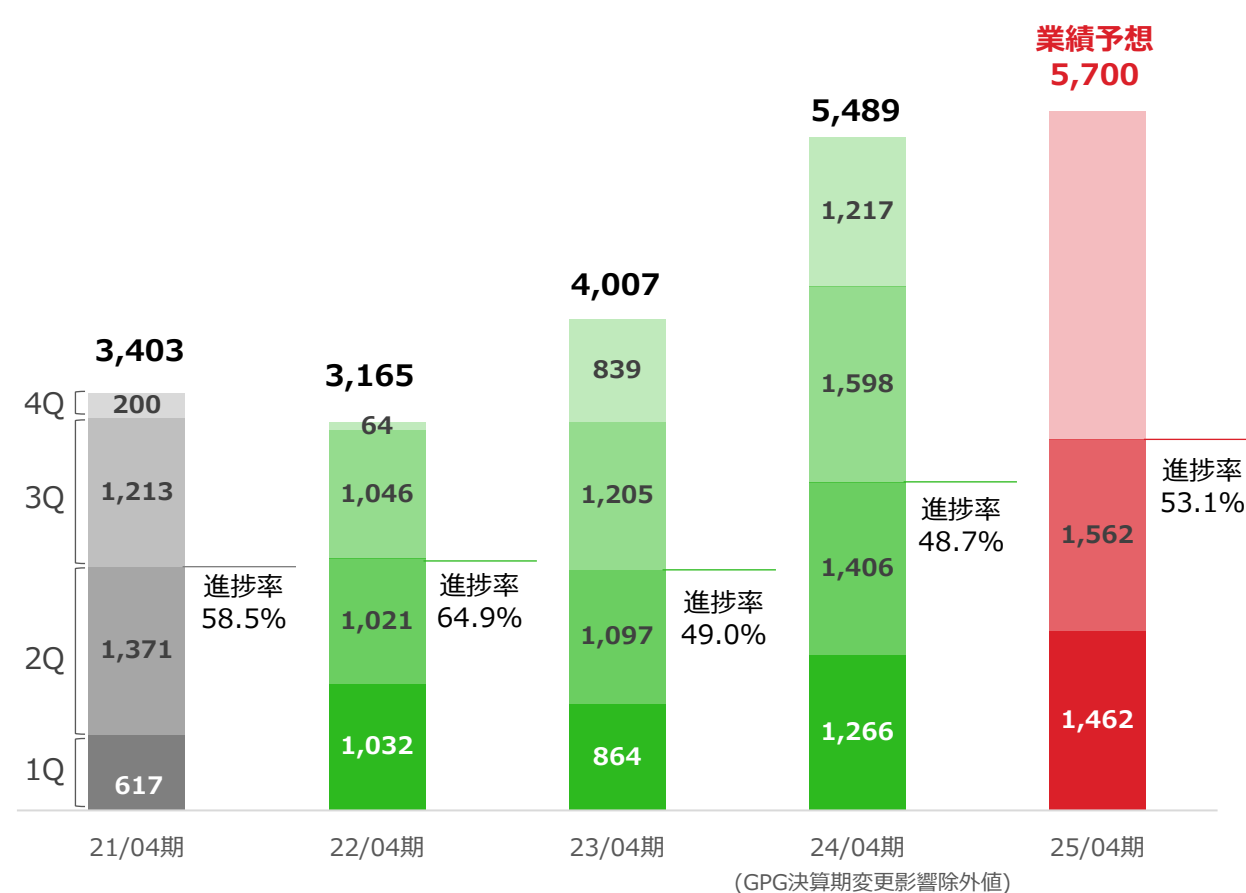
2025年4月期 第2四半期の売上高・営業利益も、通期業績予想に対し堅調に推移

(単位：百万円)

売上高



営業利益



Transformation Term

SILK VISION 2024

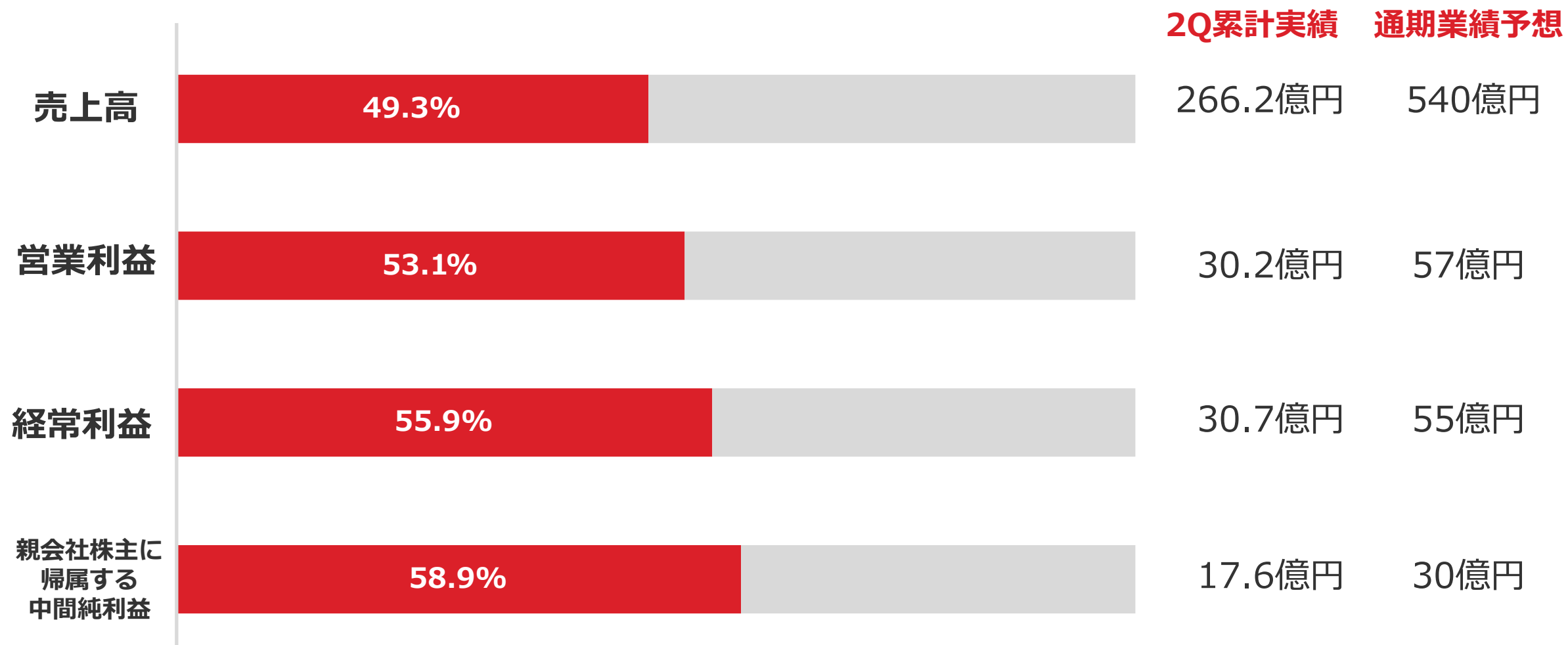
SILK VISION 2027

Transformation Term

SILK VISION 2024

SILK VISION 2027

売上高及び各段階利益の全てにおいて堅調に推移 3Q以降も想定通りに進捗する見通し



(2024年11月28日 公表)

web3の社会実装企業としての転換点を示す、フリービットグループ初の統合報告書
「freebitのこれから、ここから -Integrated Report 2024-」を発行



「通信生まれのweb3実装企業」へ
どのようにして向かうのか

フリービットグループの企業理念体系や
価値創造モデルをはじめ

- web3で描く未来像とは
- web3をどのように社会実装していくのか
- フリービットのこれまでと、現在地

についてご紹介

》》》 インターネットが本来目指していた姿。そこをもとに、社会課題の解決を。

※詳細につきましては、2024年11月28日公表の[「freebitのこれから、ここから -Integrated Report 2024-」](#)をご覧ください。

信用の新世紀

元社外取締役 出井伸之氏 書

通信生まれのweb3実装企業へ

私たちは独自開発の技術を用いてweb3実装を行い、社会課題の解決を目指していきます。非中央集権化の仕組み、ヒトとモノの分散型プラットフォームを作っていく、そのためのベースとなるのは、Trust/「信用」となります。通信やAIのトレーサビリティが問われ、約束ごとの確実な実行が求められる中、新たなTrustの仕組みをどう作っていくか。当社の元社外取締役 出井伸之氏は、いち早く「信用の所在地」というキーワードを使いました。IDとパスワードだけで管理されるという不安定な状態を超え、また検証不在というWeb2.0の根源的課題を超えていくために。

(「信用の所在地」は『SiLK VISION 2027』でも掲げているキーワードです)



通信生まれのweb3実装企業へ

カテゴリーチェンジ

Web2.0とweb3のハイブリッドで様々なモノを「Trust化」し、「信用の所在地」を社会に広げていく

「信用の所在地」の追求が『SiLK VISION 2027』のビジョン

web3 (非中央集権型) の世界における「Trust/信用」をテクノロジーで担保していくことが私たちの使命

第一章 freebit groupがweb3で描く未来像とは CEO/CTOメッセージ

web3の実装はすでに始まっている ~“通信生まれ”のweb3実装企業へのカテゴリーチェンジ~

web3スターキットとなる「フリービット株主DAO」

フリービットが一貫して進めてきた「非中央集権化」のインフラ、そしてweb3の世界をいち早く「予感」を超えて「実感」していただき、ステークホルダーが理念を共有し社会実装していく取り組み「One Vision」が、株主の皆様、トーンモバイルのユーザーの皆様を中心にすでに始まっています。世界初の「web3スターキット」とも言える「フリービット株主DAO」は「One Vision」の株主様向け還元施策です。この取り組みにご参加いただく、理解・体験が極めて難しいといわれるweb3のほぼすべての側面が、お持ちのスマートフォンを通して簡単にフル体験いただけるようになっています。

例えば「TONE Chain」では、株主の皆様が世界最先端のスマホシーリング(採掘)に参加することで、その貢献に対する報酬として「TONE Coin」が受け取れます。「TONE Chain」は株主だけでなく、トーンモバイルのユーザーやフリービットの従業員も参加しており、ノード数は現在世界第3位の規模ですので、その倍になれば「ビットコイン」を抜きます。当社のステークホルダーが結集すれば、約100兆円近い資産を動かしているブロックチェーンノードである「ビットコイン」を抜くことができるというわけです。

また、「フリービット株主DAO」では、web3の概念で重要な

「デジタルウォレット」を、個々のスマホで所有することになります。このデジタルウォレットには、資格情報などの様々なNFT(VC)が入るため、「フリービット株主DAO」にご参加いただくと、デジタルウォレットの中に「この株主様である」といった資格情報が入ることになります。こういった技術は、フリービットが長年取り組んできた「医療領域」にも実装されつつあります。日本最大の病床数を保有する藤田医科大学様とは、医療機関におけるデータ管理だけでなく、患者さんまでもが自身の医療データをVCとして持ち歩ける取り組みを進めています。これは政府が進めるマイナンバー制度とも連携が可能なのです。

また、こうしたスマートフォン上で、フリービットの技術をベースとした様々なコンポーネントを自由に組み合わせ動かす仕組みは、「StandAlone Building Blocks」によるもので、すでに様々なクリエイター向けに提供している技術が元になっています。web3の世界において、我々が非中央集権化された様々なプラットフォームを生み出す「Platform Maker」になっていくにあたり、クリエイターDXも重要な領域の一つです。IoTやモバイル技術、AIの進化により、もともと国家が持っていたような影響力は、企業がグローバルに展開する形に変遷し、今後は企業と並ぶような影響力を持つクリエイターがどんどん生まれ

てくると言われています。フリービットグループは、B2BやB2B2C/B、B2Cに対して、新しいカテゴリーであるB2C2C(Business to Creator to Consumer)という形で、クリエイターの活動を支援するため各種管理をしやすいプラットフォームをパッケージにして提供していくとしています。我々は、クリエイター自身がプラットフォームであるべきだと考えており、「StandAlone」プラットフォームでは、起業クリエイターひとりが、既存のレギュレーションに縛られることなく、自立したプラットフォームとして様々な活動ができるということが前提となっています。

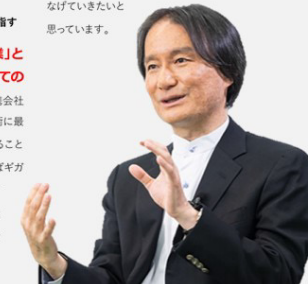
社会課題の解決を通じて、グローバルでの成長も目指す

このように、フリービットは今、「通信インフラ事業」というカテゴリーを超えて、web3企業としての歩みを始めています。さらにグループ会社や提携会社が保有するIoTセンシング技術やアクチュエーター技術に最新の生成AIやBlockchainなどの技術をかけ合わせることで、新たなサービスを生み出すことも可能です。例えばザガプライズが有する集合住宅向けの固定回線と、センサーやスマートフォンサービス、TONE Careなどの健康

の高齢や孤独死などといった高齢者問題を解決していくこともできます。

こうした取り組みは、高齢化先進国の日本においては輸出産業になり、フリービットによる社会課題の解決を「made in Japan」として世界に広げ、グローバル企業として成長していく足がかりとなります。

『SiLK VISION 2027』において、事業的な成長はもちろん、「通信生まれ」としての経験を活かしながら、このような通信サービスにとどまらない“通信生まれ”のweb3実装企業へとカテゴリーチェンジを行い、グローバルでも競える次の『SiLK VISION 2030』へとつなげていきたいと思っています。



INTERVIEW REPORT 2024 12

4. Appendix

会社概要

会社名	フリービット株式会社 (FreeBit Co., Ltd.)
本社所在地	東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー
代表者	代表取締役社長CEO兼CTO 石田 宏樹
設立	2000年5月1日
資本金	45億14百万円
従業員数	連結：884名／単体：260名 (2024年4月期)
連結子会社	連結子会社21社／持分法適用関連会社1社
連結売上高	530億37百万円 (2024年4月期)
連結営業利益	58億87百万円 (2024年4月期)
発行済株式総数	23,414,000株
上場市場	東証プライム市場 (コード 3843)

沿革

2000年5月	設立
2007年3月	東証マザーズ上場
2007年8月	連結子会社化：(株)ドリーム・トレイン・インターネット<以下、DTI>
2009年3月	連結子会社化：(株)ギガプライズ
2010年8月	連結子会社化：(株)フルスピード
2015年1月	MVNO事業子会社設立：フリービットモバイル(株) (現DTIが事業承継)
2016年7月	東証第一部市場変更
2019年7月	業務提携契約締結：アルプスアルパイン(株)
2022年4月	東証プライム市場へ移行
2022年11月	完全子会社化：(株)フルスピード
2023年3月	資本業務提携契約締結：アルプスアルパイン(株)



毎日、発明する会社

フリービット株式会社   

ISP支援サービス、MVNE、クラウドサービス、
web3関連プラットフォーム

<https://freebit.com/>

Full Speed

株式会社フルスピード 

運用型広告サービス、インターネットマーケティング事業、
クリエイター向け支援プラットフォーム
<http://www.fullspeed.co.jp/>



FOR IT

株式会社フォーイット 

アフィリエイト広告サービス
<https://www.for-it.co.jp/>



株式会社クライド 

広告統合マネージメントプラットフォーム提供サービス、
スマートフォン向けアドネットワークサービス
<https://www.craid-inc.com/>



株式会社ジョブロード 

東南アジア諸国の外国人材の日本語教育、
就職支援・転職支援など人材サービス
<https://jobroad.co.jp/>



Rita株式会社 


OtoO動画広告プラットフォーム、
CPI/CPEネットワークの開発・運用
<https://rita-inc.co.jp/>



株式会社ギガプライズ 

集合住宅向けインターネット関連サービス
<https://www.gigaprize.co.jp/>



株式会社ソフト・ボランチ 

不動産管理ソフト
<http://s-volante.co.jp/>



株式会社ギガテック 


マンションインターネット工事施工サービス
<https://www.giga-tech.co.jp/>



株式会社ドリーム・トレイン・インターネット 


個人向けインターネット関連サービス
<https://www.dti.co.jp/>



株式会社ベッコアメ・インターネット 

データセンター関連サービス
<https://www.bekkoame.co.jp/>



フリービットスマートワークス株式会社 

コールセンターの受託
<https://freebit.com/freebit-smartworks/>



5Gインフラ支援事業

5G

eSIM

AI

Blockchain

により、膨大なヒトとモノが安心・安価につながるインフラプラットフォームを提供

→ 「Free ISP's ISP」から始まった free you a bit

スタート

日本のインターネットユーザー層の拡大を目指し「Free ISP's ISP」(無料ISPのためのISP) というコンセプトの事業からスタートしたフリービット

その後

高品質でセキュアな高速通信、先進的ネットワーク技術を駆使した新サービスを次々と展開

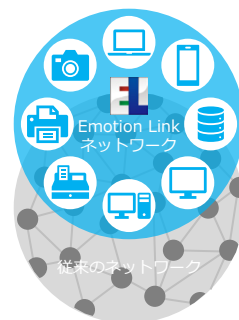
現在

5Gインフラ支援事業では、MVNO事業への参入支援サービス、ISP向けの事業支援サービスに加え、様々な事業法人がクラウドやIoT等の導入を行うための支援サービスを推進

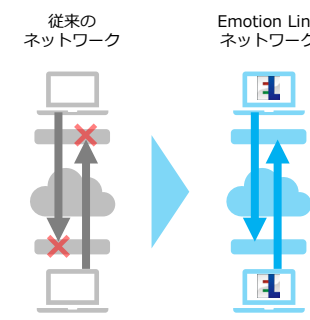
Highlight Technology

独自技術【Emotion Link】

- Emotion Linkは「OverLay Internet (既存のインターネットの上に仮想的なインターネットを構築する)」により、通信の到達性や安全性を柔軟に確保することができる、安全・安心な通信を実現するネットワーク・ソリューション
- ネットワークの実現に必要な機器、端末同士の安全な双方向通信、ファイアウォールやNATを越えてのダイレクト・アクセスを実現



OverLay Internetであらゆる機器の安全・安心な通信を実現



NATやファイアウォールなどのネットワーク障壁を越えた通信を実現



Emotion Linkでは、顧客の様々なニーズにお応えするため、多様な機器のネットワーク化を可能にする豊富なクライアントバリエーションを用意しています



- 5G時代に対応するための次世代ネットワークやデータセンターを構築し、クラウド基盤を活かしたサービス提供の強化や5G、eSIM (組み込み型のSIM) を活用したサービスも展開するとともに、それらをはじめとした事業リソースを組み合わせたサービスも拡大していく
- 国内産業向け5G関連市場は2,106億円、IoT市場は10.2兆円※という巨大市場の創出が見込まれている
- その市場を視野に入れ、安定かつ安心・安全な通信インフラサービスの継続的な提供を行いつつ、5G時代に対応する次世代ネットワークやデータセンターを構築し、5GやeSIMを活用した新サービスの展開を目指す



主要サービス紹介



MVNO事業展開をサポートするMVNE事業

概要

主な提供ソリューション

サービスの特徴

MVNO事業者を支援するMVNEサービスを提供
MNO (NTTドコモ) とMVNO事業者の間に入り、MVNO事業の立ち上げ・運用のサポート、コンサルティングを行い、MVNO事業の円滑な展開をサポート

- 専任コンサルタント制
- 豊富なラインナップで組合せは無限大
- 低コストで実現



ISP事業を全方位バックアップ

ISP事業者に対し、プロバイダーアウトソーシングサービスを提供。インターネット接続、大容量メールなど基本サービスに加え、オンラインストレージ・クラウドプラットフォーム・モバイル接続といった周辺サービスまで総合的にバックアップ

- YourNet ISP アウトソーシングサービス
- M-Plus! VPN
- ISP in a Cloud



高セキュリティなハイブリッドクラウド

汎用プランからオーダーメイドのサーバー構築まで、幅広いニーズに対応可能なホスティングサービスを提供
次世代ファイアウォール「FortiGate」と、実績と信頼高い仮想化ソフトウェア「VMware」を組み込んだセキュアで安定性に優れたクラウド

- freebit cloud VDC
- freebit cloud security SIM
- freebit cloud IoT Platform



5G生活様式支援事業 ①

「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを提供

▶ 5G Lifestyle (TONE/DTI)

個人をメインターゲットとしたスマートフォン等を利用したモバイル通信サービスや固定回線によるインターネット関連サービスの提供

トーンモバイル

▷フリービットグループの有する技術のShowroomとしての位置付けも担当

トーンモバイルは

- ・ 子供たちが初めて使うスマホはどうあるべきか
- ・ シニア世代が使うスマホはどうあるべきかを考え、テクノロジーによってできること、スマホを使うことへの不安やストレス、抵抗感を軽減し、安心・安全に使える「やさしいスマホ」を提供



Highlight Technology

フリービットグループの技術を集結させた「トーンモバイル」は「TONE IN」戦略を展開



子どもにスマホを持たせるのが不安

TONEファミリー

夜中もスマホが心配

夜使えないスマホ (22時-6時利用できない)

Webは危険

あんしんインターネット

やさしいスマホへ。

TONE

スマホの利用が不安

置くだけサポート

自撮り被害防止

TONEカメラ

店舗が近くにない
操作が難しい

遠隔サポート

詐欺電話が心配

あんしん電話

健康でいたい

ライフログ

(中之条メソッド)



社会課題を「トーンモバイル」で解決

TONE Care



どこからでも気軽に無料で医師等※2にオンライン健康相談



医師等が健康に関するアドバイスを実施

TONE Careでは、医師等が契約者や利用者、ご家族の健康相談を実施



チャットで気軽に相談。月に何度でも利用可能

お手軽にチャットで、しかも無料で何度でも相談ができる



オンライン健康相談は1回15分で月2回まで

1回15分で、月2回までお手持ちのトーンモバイルから気軽に相談可能

TONEファミリー



スマホ上で動作するAIがSNS利用の危険度を判断

増加する「SNSでの誹謗中傷」等の問題解決のために、SNS上のトラブルにつながるようなメッセージをキャッチし、保護者にお知らせ

※1 VC (Verifiable Credentials) : 学歴や資格、身分証明などの情報を保有し、それが信頼できる機関によって検証されていることを証明するデジタル証明書

※2 医師以外の有資格者が相談を受ける場合があります。



5G生活様式支援事業 ②

「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを提供

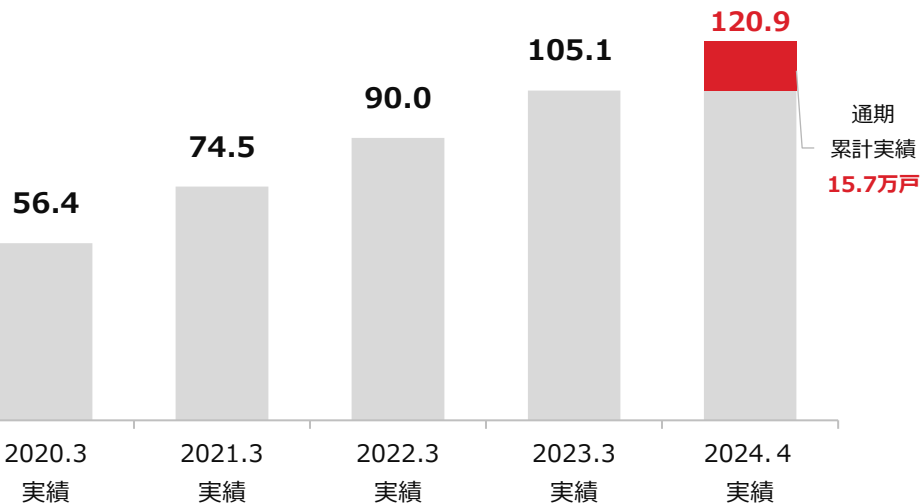
▶ 5G Homestyle (GIGA PRIZE) 集合住宅向けインターネットサービスの提供に加え、新規サービスの確立にも注力

+ 集合住宅向けISPとスマートライフを支援するギガプライズ

- 5G生活様式支援事業の5G Homestyle (集合住宅向けインターネットサービス) の提供を行っているギガプライズは、集合住宅をターゲットにしたインターネットサービスプロバイダ (ISP) として、高速かつ安定したインターネット接続サービスを提供
- 不動産業界向けの業務支援システムやクラウドベースの監視カメラサービスなど、デジタル化を進める多彩なソリューションの展開も進行中

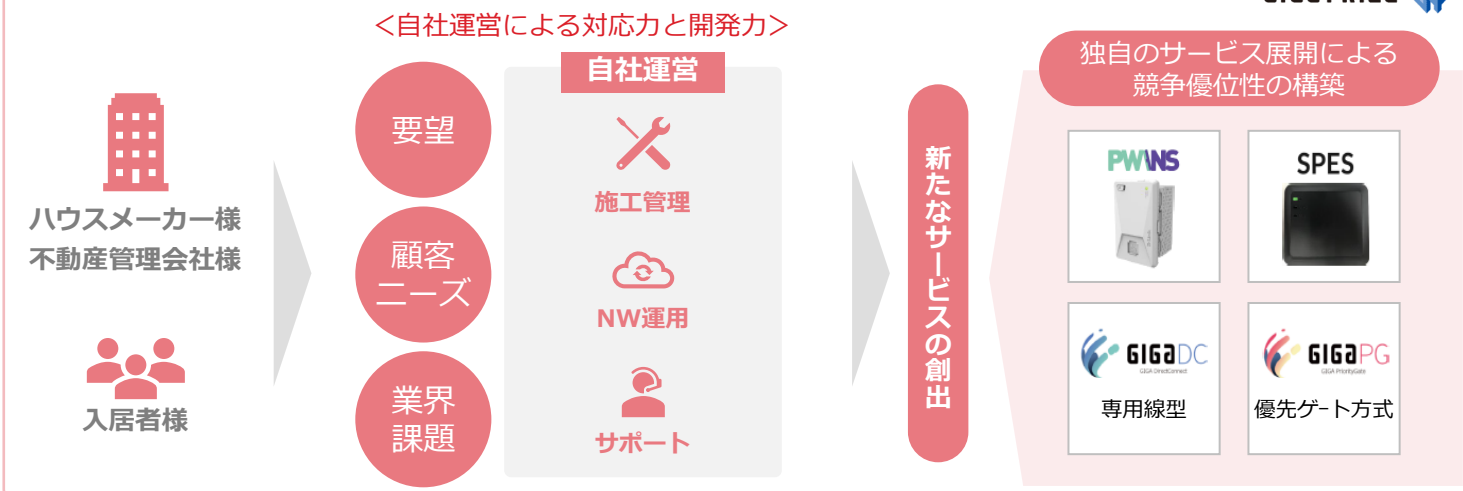
<集合住宅向けISPサービス サービス提供戸数 実績>

2024年4月期 (13ヶ月)



Highlight Technology

自社運営による独自サービス展開で競争優位性を確保



Smart City 実現に向けた取り組み



- ギガプライズグループが運営する「LIVINGTOWN みなとみらい」は、「住」を中心に暮らしのアップデートをサポートする異業種共創型の複合施設
- 5GやIoTなどの次世代通信技術を活用したスマートホーム体験を提供し、スマートタウン実現に向けた実証検証を推進



テクノロジーで暮らしを豊かにするべく、住宅周辺の環境においても様々なソリューションを展開

- クラウド型防犯カメラは、レコーダーを使わずに映像をクラウドに記録。ゴミ置き場の不法投棄・駐車場のトラブル対策から侵入・窃盗等の犯罪抑止と、入居者に「安心感」を提供
- スマートポールは、基本的な街灯機能や、LED灯のイルミネーション機能、クラウド型防犯カメラを搭載し、安心・安全を提供
- ギガプライズは住まいの課題やニーズに合わせたソリューションサービスの開発や改善に取り組み、物件価値向上と快適で豊かなくらしの実現に貢献



企業・クリエイター 5G DX支援事業

企業だけでなく、今後のモノづくりの中心となるクリエイターやインフルエンサーに寄り添って「市場創出から市場投入、顧客関係維持」までを可能とするプラットフォーム構築を支援する事業



先端技術のwebマーケサービを提供 ▶ フルスピード

100万サイト超のアフィリエイトネットワーク ▶ フォーイット

5Gマーケティングを意識したサービスの拡充やインフルエンサーズマーケティングの拡大を図る

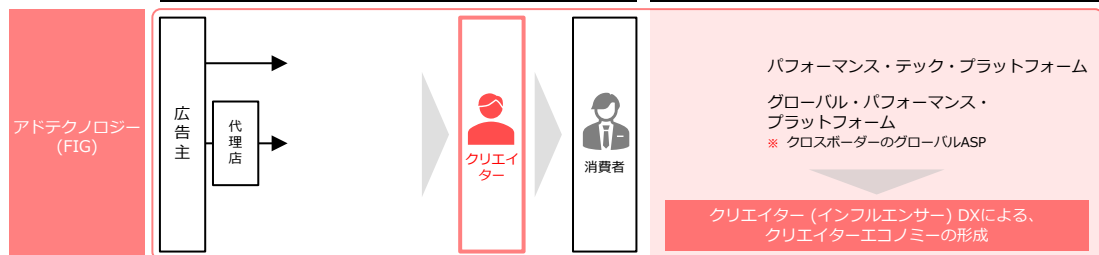
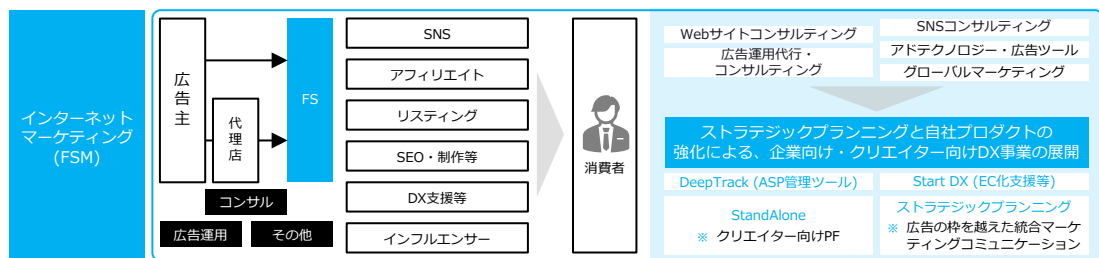
web3を視野に入れたインターネットマーケティングやアドテクノロジー関連事業の推進



クリエイター / インフルエンサーが大手プラットフォームを介さずに自ら情報発信し、その価値を最大化できるクリエイタープラットフォーム「Stand Alone」を展開

企業・クリエイター5G DX支援事業

5G時代のモノづくりを、企業だけでなく、クリエイターやインフルエンサーに寄り添って、独自のDX手法によりプラットフォーム構築を支援していきます。



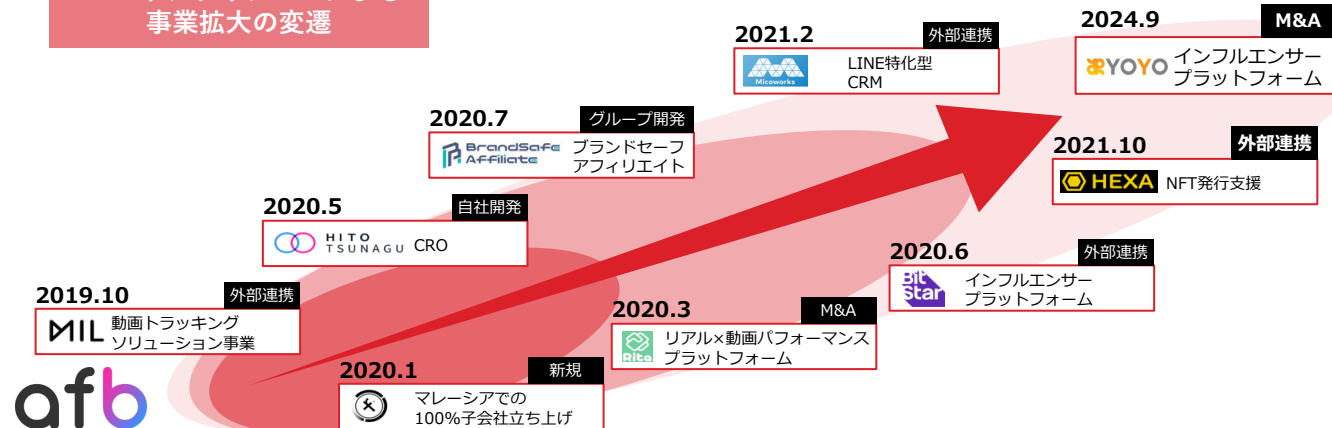
Highlight Technology パフォーマンステクノロジーネットワーク / ASP



- フォーイットが運営する成果報酬型のアフィリエイト・サービス「afb」は「顧客第一主義」を掲げ、パートナーへの支払いサイクルは業界最速
- 「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2023」における利用者満足度において、高収入パートナー(月50万円以上の収入)からの満足度、12年連続で**No.1**を獲得しています

出所) 「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2023」 <https://affiliate-marketing.jp/release/202306.pdf>

M&Aやアライアンスによる事業拡大の変遷



 当社HPのTOPページよりご覧いただけます



『SiLK VISION 2027』説明動画URL

https://freebit.com/ir/movie/movie_20240724.html



統合報告書

「freebitのこれから、ここから-Integrated Report 2024-」URL

<https://pdf.irpocket.com/C3843/BSCD/TpK7/S6o2.pdf>



『SiLK VISION 2027』説明動画の書き起こし記事

『SiLK VISION 2027』説明動画テキスト版URL (外部サイト)

<https://finance.logmi.jp/articles/380238>



フリービット、新中期経営計画『SiLK VISION 2027』を発表
「信用の所在地」を追求し、通信生まれの
web3実装企業へ

提供：フリービット株式会社 新中期経営計画『SiLK VISION 2027』説明動画



毎日、発明する会社

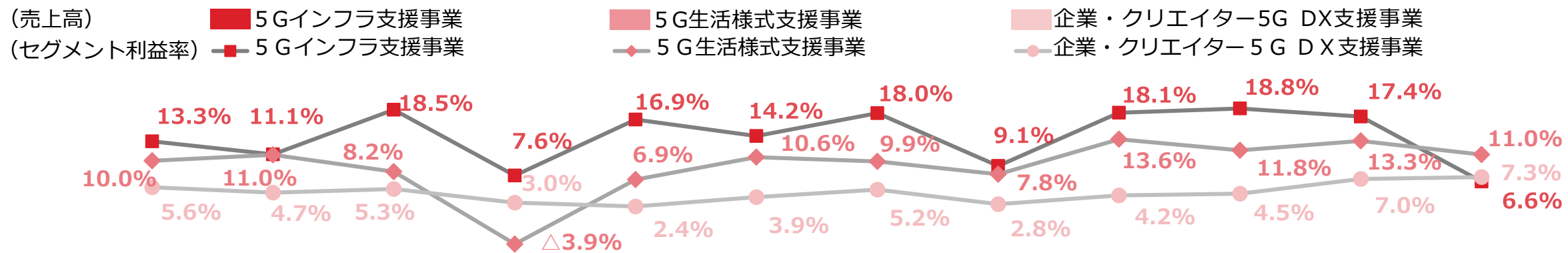
SiLK VISION

2027

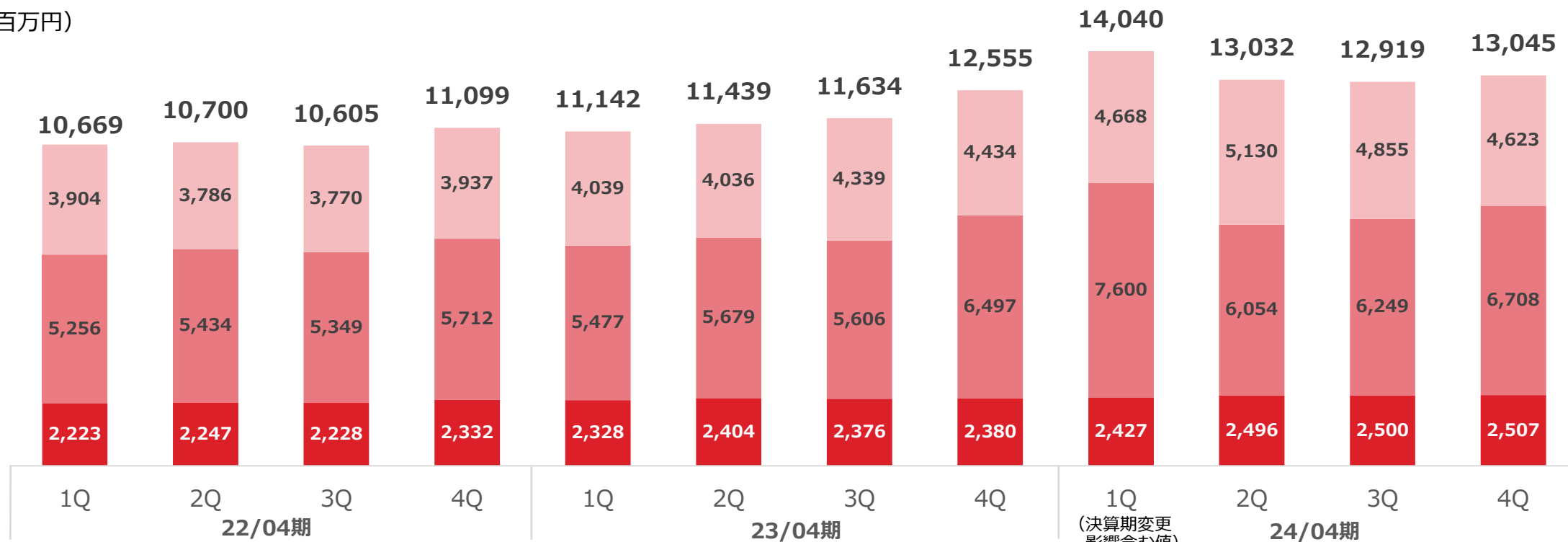
信用の所在地

born in the Garage

継続課金による売上の安定成長と、着実な利益率の向上



(単位：百万円)



(決算期変更影響含む値)

定量情報（財務指標）

	15/04期	16/04期	17/04期	18/04期	19/04期	20/04期	21/04期	22/04期	23/04期	24/04期※
連結子会社数	11	11	14	20	24	27	19	20	21	21
業績（百万円）										
売上高	21,469	28,389	35,222	38,653	50,365	55,295	52,009	43,075	46,771	53,037
営業利益	1,244	1,902	1,321	1,851	2,981	2,587	3,403	3,165	4,007	5,887
経常利益	982	1,322	807	1,426	2,569	2,481	3,661	2,878	3,707	5,756
親会社株主に帰属する当期純利益	1,025	553	△150	△567	279	△619	1,586	827	1,792	3,566
財政状況（百万円）										
総資産	19,323	21,931	25,597	30,796	39,164	42,472	34,835	35,050	35,926	38,183
純資産	10,654	11,164	11,251	10,675	11,308	10,848	12,148	11,039	11,032	15,196
自己資本	9,842	9,972	9,648	8,875	9,001	8,079	8,714	6,881	8,242	11,628
有利子負債（リース債務含む）	3,901	4,430	6,499	12,107	16,941	18,897	14,317	15,144	15,991	14,144
キャッシュ・フロー（百万円）										
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,207	1,751	3,811	1,030	3,182	1,480	7,122	2,333	3,322	4,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△524	△508	△2,291	△2,140	△3,688	△1,870	△2,655	510	△644	△1,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	585	△306	844	4,504	2,320	625	△2,571	△2,731	△2,110	△2,720
現金及び現金同等物の期末残高	6,983	7,911	10,249	13,656	15,458	15,718	17,619	17,741	18,305	18,722
生産性（百万円）										
従業員1人当たり売上高	33.1	41.8	40.0	39.0	39.7	42.8	56.8	45.9	51.2	59.9
従業員1人当たり営業利益	1.9	2.8	1.5	1.8	2.3	2.0	3.7	3.3	4.3	6.6

	15/04期	16/04期	17/04期	18/04期	19/04期	20/04期	21/04期	22/04期	23/04期	24/04期※
収益性										
営業利益率（%）	5.8	6.7	3.8	4.8	5.9	4.7	6.5	7.3	8.6	11.1
ROA（総資産経常利益率）（%）	5.4	6.4	3.4	5.1	7.3	6.1	9.5	8.2	10.4	15.5
ROE（自己資本当期純利益率）（%）	12.9	5.6	-	-	3.1	-	18.9	10.6	23.7	35.9
安全性										
流動比率（%）	180.4	176.7	181.8	215.1	199.2	186.4	207.0	216.0	213.3	224.9
D/Eレシオ（倍） ※E（自己資本）	0.4	0.4	0.7	1.4	1.9	2.3	1.6	2.2	1.9	1.2
効率性										
総資産回転率（回）	1.2	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.3	1.4
売上債権回転期間（日）	52.3	49.5	45.3	44.0	48.5	58.1	56.0	61.9	63.7	58.2
1株当たり指標										
1株当たり純資産額（BPS、円）	436.56	449.30	434.70	399.88	405.57	368.19	415.12	366.01	412.94	582.26
1株当たり配当金（円）	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.5	8.0	27.0
1株当たり当期純利益（EPS、円）	51.40	24.75	△6.77	△25.56	12.59	△27.93	74.06	41.86	95.07	178.58
配当性向（%）	13.6	28.3	-	-	55.6	-	9.5	17.9	8.4	15.1

※GPGの決算期変更影響含む値

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営企画本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>